

別記様式第2号（その1の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	がっくわいじん じょしびじゅつがいがく 学校法人 女子美術大学								
フリガナ大学の名称	じょしびじゅつがいがく 女子美術大学 (Joshibi University of Art and Design)								
大学本部の位置	東京都杉並区和田1丁目49番8号								
大学の目的	本学は、芸術に関する最高の理論及び技術を教授研究し、教養高く芸術的創造力の豊かな女性を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	芸術分野の学問の進展や進学需要に対応するため、令和5年4月から芸術学部新たに共創デザイン学科を設置する。共創デザイン学科は杉並キャンパス（東京都杉並区）に置き、入学定員60人、収容定員240人とする。 地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律第13条第1号に定める除外規定の適用により、令和5年4月から女子美術大学短期大学部の収容定員を360人から240人へ120人減少させ、この減少分を基に適切に算定した240人を芸術学部の収容定員増加分に充てる。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	芸術学部 【College of Art and Design】	年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
	美術学科 【Department of Fine Arts】	4	190	3年次 14	788	学士（芸術） （Bachelor of Fine Arts）	平成22年4月 第1年次 平成24年4月 第3年次	神奈川県相模原市南区 麻溝台1900番地	
	デザイン・工芸学科 【Department of Design and Crafts】	4	220	3年次 16	912	学士（芸術） （Bachelor of Fine Arts）	平成22年4月 第1年次 平成24年4月 第3年次	同上	
	アート・デザイン表現学科 【Department of Cross-Disciplinary Art and Design】	4	160	3年次 10	660	学士（芸術） （Bachelor of Fine Arts）	平成22年4月 第1年次 平成24年4月 第3年次	東京都杉並区和田1丁目 49番8号	
	共創デザイン学科 【Department of Collaborative Design】	4	60 (0)	— 3年次	240 (0)	学士（芸術） （Bachelor of Fine Arts）	令和5年4月 第1年次	同上	※令和4年4月設置届出予定
	計		630 (570)	40 (40)	2,600 (2,360)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	令和5年4月設置予定 芸術学部共創デザイン学科（令和4年4月届出予定） 令和5年4月入学定員変更予定 女子美術大学短期大学部造形学科 [定員減] (△60)（令和4年4月届出予定）								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位			

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
新設	美術学部 美術学科	13 (13)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	22 (22)	21 (21)	179 (179)	
		14 (14)	4 (4)	0 (0)	4 (4)	22 (22)	17 (17)	184 (184)	
		9 (9)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	16 (16)	15 (15)	147 (147)	
		3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	4 (2)	77 (32)	
		4 (4)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	2 (2)	97 (95)	
		43 (43)	19 (19)	0 (0)	10 (10)	72 (72)	59 (57)	— (—)	
既設	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計		43 (43)	19 (19)	0 (0)	10 (10)	72 (72)	59 (57)	— (—)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		57 (55)		53 (50)		110 (105)		
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員		2 (2)		0 (0)		2 (2)		
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計		59 (57)		53 (50)		112 (107)			
校地等	区分	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地	59,106.42 m ²	19,214.08 m ²		— m ²		78,320.50 m ²		
	運動場用地	— m ²	42,268.25 m ²		— m ²		42,268.25 m ²		
	小計	59,106.42 m ²	61,482.33 m ²		— m ²		120,588.75 m ²		
	その他	961.00 m ²	4,384.76 m ²		— m ²		5,345.76 m ²		
合計	60,067.42 m ²	65,867.09 m ²		— m ²		125,934.51 m ²			
校舎	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計			
	50,762.57 m ² (50,762.57 m ²)	23,228.60 m ² (23,228.60 m ²)		— m ² (— m ²)		73,991.17 m ² (73,991.17 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	— 室			
	27 室	45 室	260 室	10 室 (補助職員 0人)	— 室 (補助職員 0人)	— 室			
専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	大学全体			65 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	408,141 [73,010] (395,285 [70,686])	472 [134] (472 [134])	4 [4] (4 [4])	6,652 (6,332)	6,279 (6,120)	— (—)		
	計	408,141 [73,010] (395,285 [70,686])	472 [134] (472 [134])	4 [4] (4 [4])	6,652 (6,332)	6,279 (6,120)	— (—)		
図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	4,175.61 m ²		449		372,728				
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	885.80 m ²		多目的運動場 10,400 m ² テニスコート 3 面						
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当たり研究費等	—	300千円	300千円	300千円	300千円	—	—	
	共同研究費等	—	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—	—	
	図書購入費	21,956千円	21,956千円	21,956千円	21,956千円	21,956千円	—	—	
	設備購入費	55,354千円	75,234千円	16,644千円	29,334千円	29,704千円	—	—	

経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体	
	共創デザイン学科	1,888千円	1,691千円	1,691千円	1,691千円	—	—		
	美術学科洋画専攻	1,894千円	1,674千円	1,666千円	1,666千円	—	—		
	美術学科日本画専攻	1,867千円	1,671千円	1,663千円	1,663千円	—	—		
	美術学科立体アート専攻	1,899千円	1,679千円	1,671千円	1,671千円	—	—		
	美術学科美術教育専攻	1,866千円	1,646千円	1,638千円	1,628千円	—	—		
	美術学科芸術文化専攻	1,866千円	1,646千円	1,638千円	1,628千円	—	—		
	デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻	1,878千円	1,658千円	1,658千円	1,658千円	—	—		
	デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻	1,886千円	1,666千円	1,666千円	1,666千円	—	—		
	デザイン・工芸学科環境デザイン専攻	1,878千円	1,658千円	1,658千円	1,658千円	—	—		
	デザイン・工芸学科工芸専攻	1,886千円	1,658千円	1,658千円	1,658千円	—	—		
	アート・デザイン表現学科	1,896千円	1,715千円	1,715千円	1,707千円	—	—		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						
既設大学等の状況	大学の名称	女子美術大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	大学院美術研究科 博士後期課程 美術専攻	3	3	—	9	博士(美術)	0.66 0.66	平成8年度	神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地
	博士前期課程 美術専攻	2	35	—	70	修士(美術)	0.72 0.66	平成6年度	東京都杉並区和田1丁目49番8号 神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地
	デザイン専攻	2	15	—	30	修士(美術)	1.00	平成6年度	神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地 東京都杉並区和田1丁目49番8号
	芸術文化専攻	2	7	—	14	修士(美術)	0.42	平成17年度	神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地
	芸術学部 美術学科	4	190	3年次 14	788	学士(芸術)	1.12 1.10	平成22年度	同上
デザイン・工芸学科	4	220	3年次 16	912	学士(芸術)	1.10	平成22年度	同上	
アート・デザイン表現学科	4	160	3年次 10	660	学士(芸術)	1.19	平成22年度	東京都杉並区和田1丁目49番8号	

既設大学等の状況	大学の名称	女子美術大学短期大学部							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	造形学科	2年	180人	—人	360人	短期大学士(芸術)	0.97倍	昭和32年度	東京都杉並区和田1丁目49番8号
附属施設の概要	<p>1 名称：女子美術大学美術館 (①女子美アートミュージアム、②女子美ガレリアニケ) 目的：本学の教育理念に則り、教育及び研究並びに博物館法に定める大学附属博物館としての活動と、社会に対する普及活動を行う。 所在地：①神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地（女子美術大学10号館1階） ②東京都杉並区和田1丁目49番8号（女子美術大学1号館1階） 設置年月：①平成13年10月 ②平成8年10月 規模等：①延床面積 1,455.31㎡ ②延床面積 97.00㎡</p> <p>2 名称：女子美術大学研究所 目的：本学の研究基盤をより一層整備し、研究活動による成果を広く公開するとともに、社会と連携しつつ研究開発を行い、もって芸術、文化の発展に貢献する。 所在地：東京都杉並区和田1丁目49番8号（女子美術大学1号館2階） 設置年月：平成15年4月 規模等：延床面積 47.78㎡（女子美オープンカレッジセンターと共用）</p> <p>3 名称：女子美オープンカレッジセンター 目的：主として本学の教育的資源を活用し、広く社会に対し専門的な学習の機会を提供するとともに、芸術文化の発展に寄与する。 所在地：東京都杉並区和田1丁目49番8号（女子美術大学1号館2階） 設置年月：平成15年4月 規模等：延床面積 47.78㎡（女子美術大学研究所と共用）</p>								

(注)

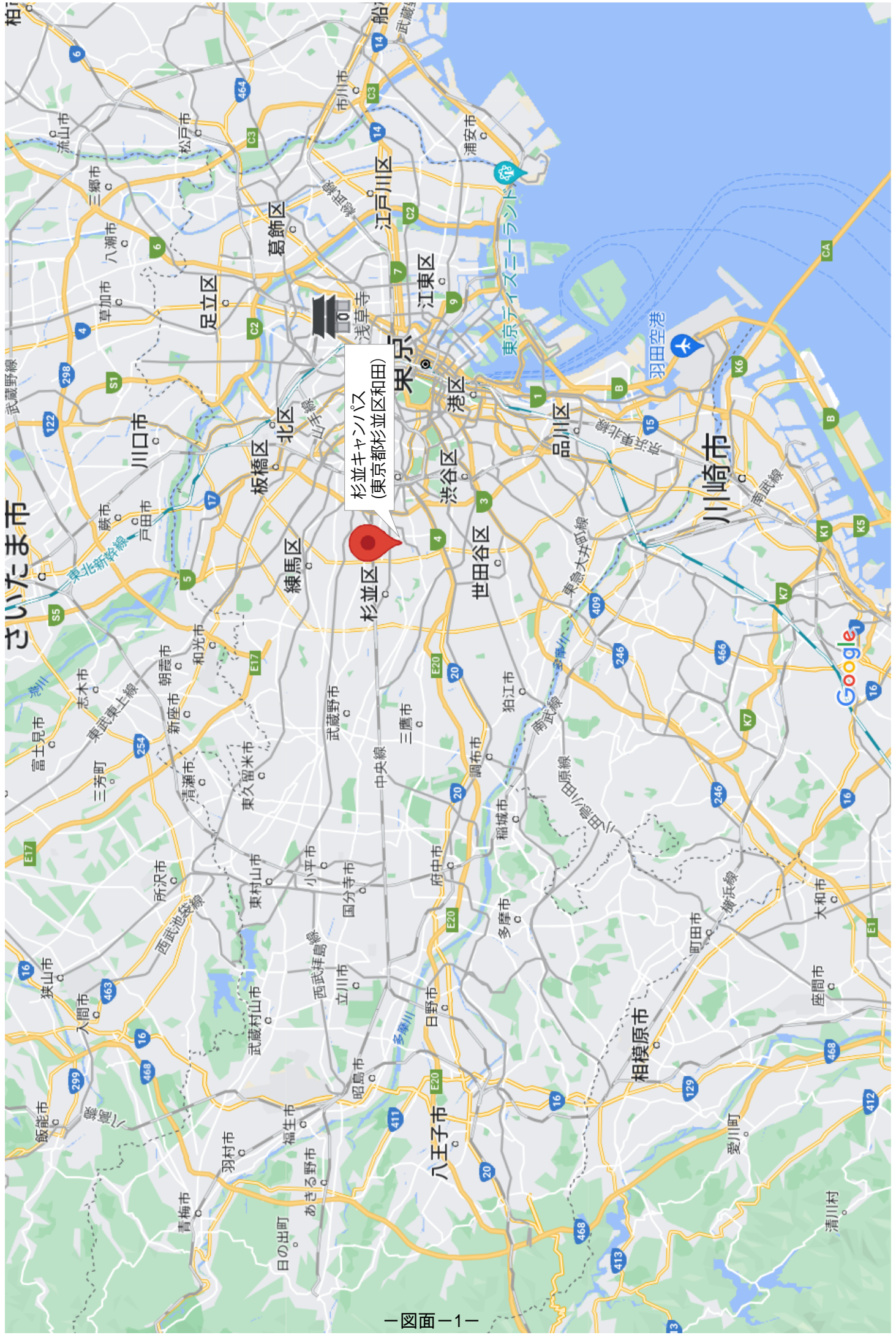
- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る教を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人女子美術大学

設置認可等に関わる組織の移行表

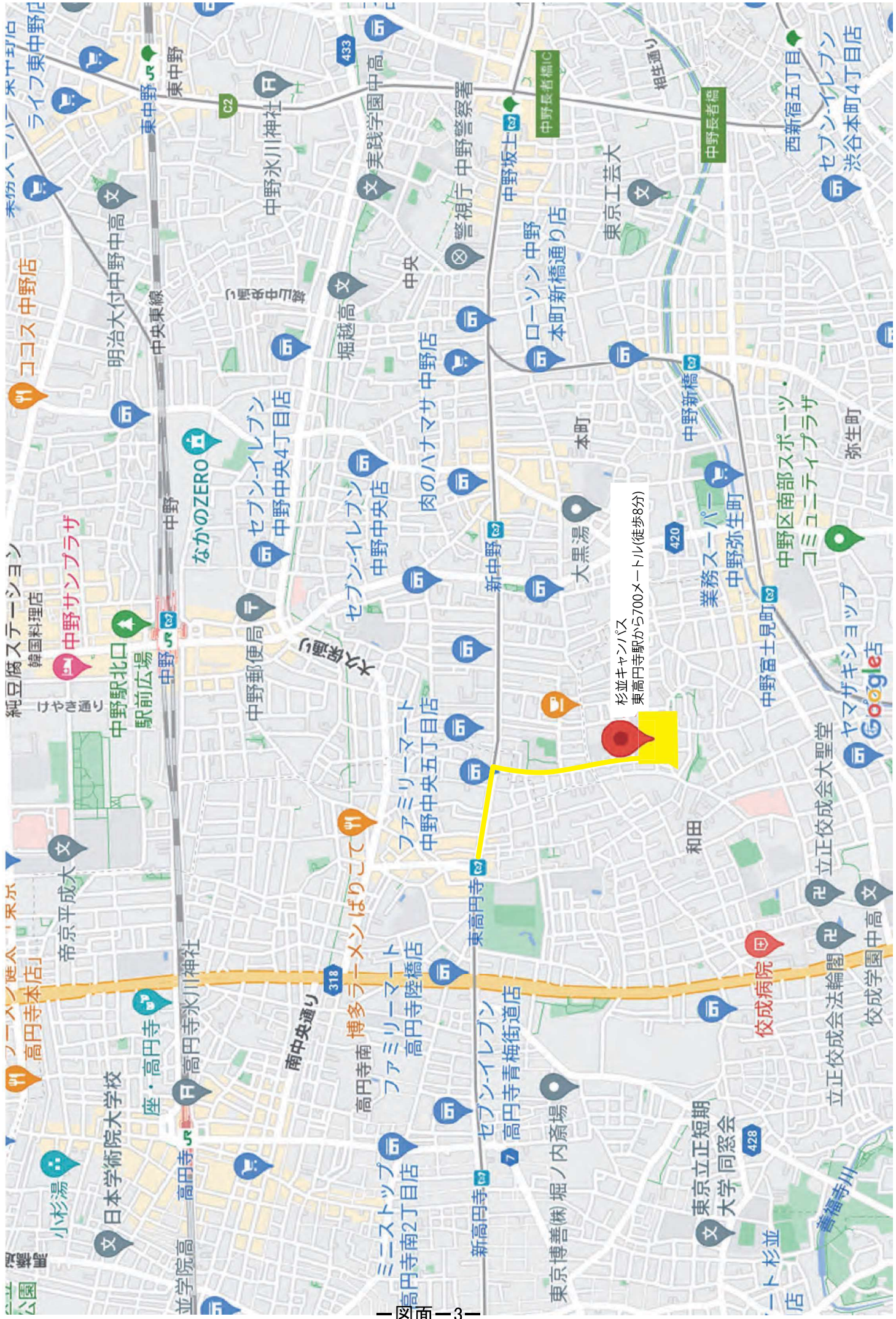
令和4年度	入学定員	編入学定員	収容定員
女子美術大学			
芸術学部			
美術学科	190	3年次 14	788
デザイン・工芸学科	220	3年次 16	912
アート・デザイン表現学科	160	3年次 10	660
計	570	3年次 40	2,360
女子美術大学大学院			
美術研究科			
博士後期課程	3	-	9
美術専攻			
博士前期課程	35	-	70
美術専攻			
デザイン専攻	15	-	30
芸術文化専攻	7	-	14
計	60	-	123
女子美術大学短期大学部			
造形学科	180	-	360
計	180	-	360

令和5年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
女子美術大学				
芸術学部				
美術学科	190	3年次 14	788	
デザイン・工芸学科	220	3年次 16	912	
アート・デザイン表現学科	160	3年次 10	660	
共創デザイン学科	60	-	240	学科の設置（届出）
計	630	3年次 40	2,600	
女子美術大学大学院				
美術研究科				
博士後期課程	3	-	9	
美術専攻				
博士前期課程	35	-	70	
美術専攻				
デザイン専攻	15	-	30	
芸術文化専攻	7	-	14	
計	60	-	123	
女子美術大学短期大学部				
造形学科	120	-	240	定員変更（△60）
計	120	-	240	



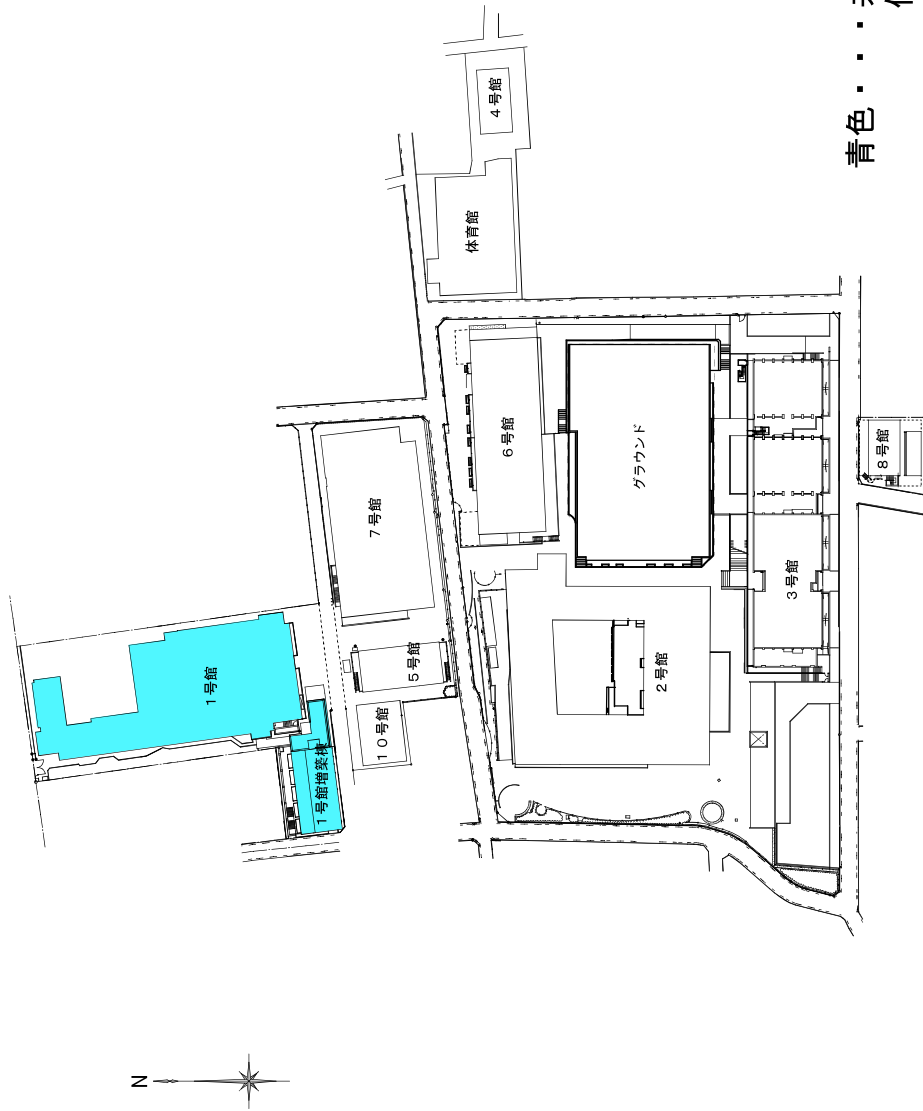
— 図面 1 —

女子美術大学杉並キャンパス周辺地図



女子美術大学杉並キャンパス

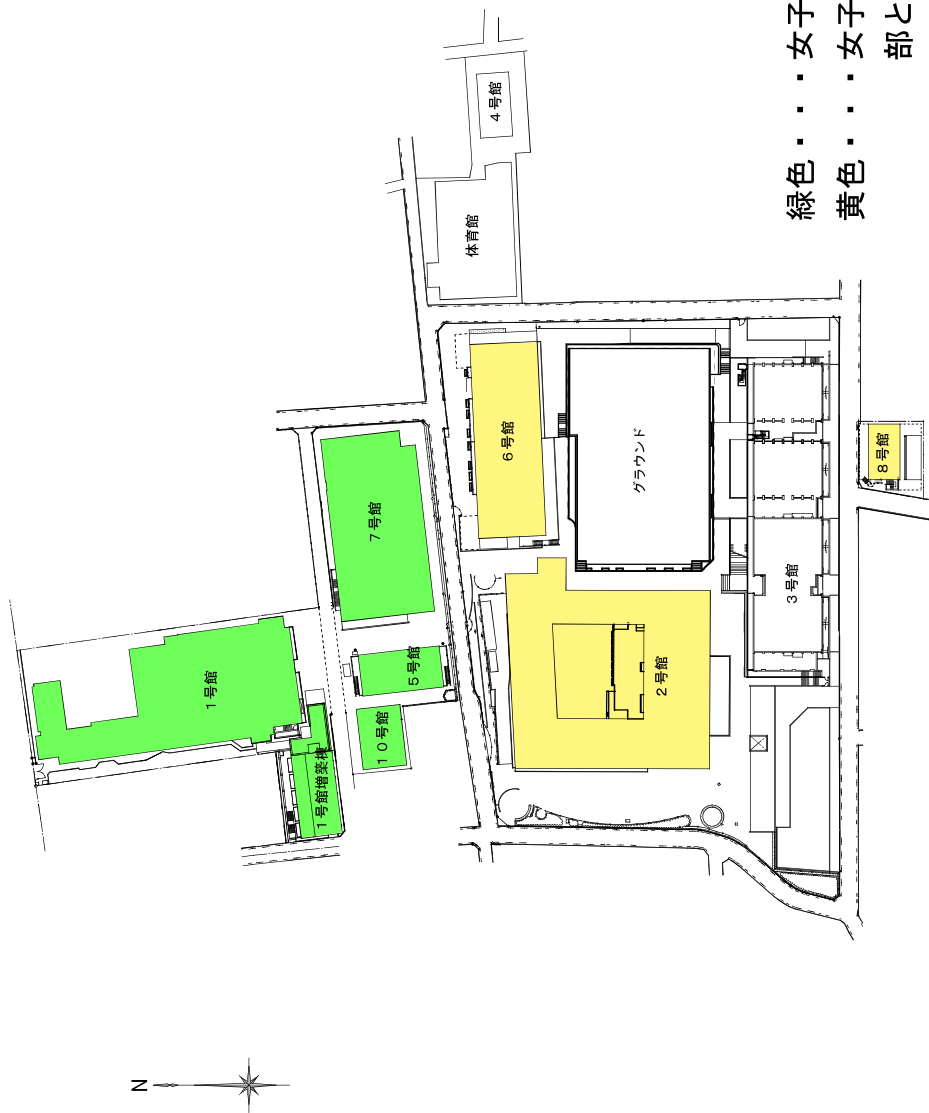
校地面積 17,733.50㎡
校舎面積 24,274.16㎡



青色・・・共創デザイン学科が
使用する校舎

女子美術大学杉並キャンパス

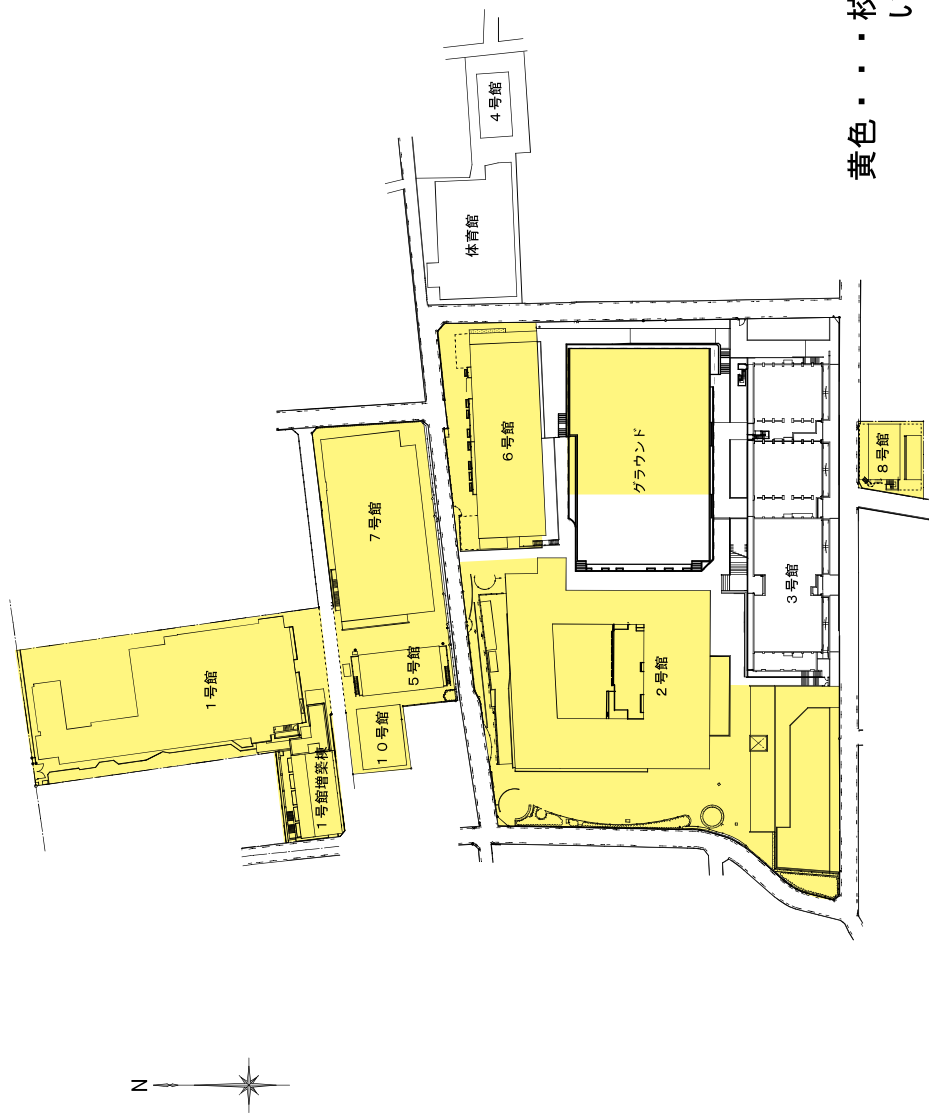
校地面積 17,733.50㎡
校舎面積 24,274.16㎡



緑色・・・女子美術大学専用部分
黄色・・・女子美術大学短期大学部との共用部分

女子美術大学杉並キャンパス

校地面積 17,733.50㎡
校舎面積 24,274.16㎡



黄色・・・校地面積に算入して
いる部分

女子美術大学学則

(昭和41年4月1日施行)

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、芸術に関する最高の理論及び技術を教授研究し、教養高く芸術的創造力の豊かな女性を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について点検及び評価を行う。これについては、別に定める。

第2章 組織

(学部、学科及び学生定員)

第2条 本学に、芸術学部を置く。

2 芸術学部には、置く学科及び学生定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	編入定員	収容定員
美 術 学 科	190名	14名	788名
デザイン・工芸学科	220名	16名	912名
アート・デザイン表現学科	160名	10名	660名
共創デザイン学科	60名		240名

(学科の目的)

第2条の2 本学の設置する各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- 一 美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨することを教育目標としている。平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の養成を目的としている。
- 二 デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を教育目標としている。幅広い視野・技術・感性を実体験を通して養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の養成を目的とする。
- 三 アート・デザイン表現学科は、アートとデザインの領域を横断、融合して、クリエイティブな発想力と独創的な表現力を培うことを教育目標としている。ヒューマンティリーの視点からアートとデザインを捉え、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識と斬新な感性を持ち、コミュニケーション能力に長け、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の養成を目的とする。
- 四 共創デザイン学科は、デザインの基礎的・基本的な知識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを教育目標とする。伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインする能力を身に付け、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を共に創り上げることのできる能力を備えた人材の養成を目的とする。

(附属研究所、図書館及び美術館)

第3条 本学に、附属研究所、図書館及び美術館を置く。

2 附属研究所、図書館及び美術館に関する規則は別に定める。

(事務組織)

第4条 本学に、必要な事務組織を置く。

第3章 職員組織

(職員組織)

第5条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

2 本学に、副学長を置くことができる。

第4章 教授会

(教授会)

第6条 学部に、教授会を置く。

(教授会の構成)

第7条 教授会は、学長、専任の教授・准教授・助教をもって構成する。

(教授会の招集)

第8条 教授会の招集は、学長が行う。

2 教授会の議長は学部長とする。

3 議長に事故あるときは、当該招集者が予め指名した教授が議長となる。

(審議事項)

第9条 教授会は、次の事項を審議する。

- 一 教育課程に関すること。
- 二 主要年中行事及び日程に関すること。
- 三 授業科目修了の認定に関すること。
- 四 学生の指導及び賞罰に関すること。
- 五 入学試験に関すること。
- 六 入学、退学、休学、留学、転学及び卒業に関すること。
- 七 各種奨学生に関すること。
- 八 実習料等に関すること。
- 九 学則その他本学の制規に関すること。
- 十 教員の人事に関すること。
- 十一 その他本学に関する重要なこと。

(その他)

第10条 教授会に関する事項は、本章によるほか、芸術学部教授会内規の定めるところによる。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第11条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第12条 学年を、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第13条 休業日は、次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

創立記念日（10月30日）

春期休業（4月1日から4月15日まで）

夏期休業（7月11日から9月10日まで）

冬期休業（12月25日から翌年1月7日まで）

- 2 学長は、教授会の議を経て、前項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第14条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第15条 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、第21条第1項及び第22条第1項の規定により入学した学生は、それぞれ第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができる。

第7章 入学

(入学の時期)

第16条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第17条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

(入学の出願)

第18条 本学への入学を志願する者は、入学願書に別表第4に定める入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第19条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第20条 前条の選考に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、別表第4に定める入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第21条 次の各号の一に該当する女子で、本学に編入学を志願する者があるときは、選考の上、3年次に入学を許可する。

一 大学を卒業した者又は退学した者

二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

四 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者

五 専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(学校教育法第90条に規定する者に限る)

六 その他本学において、相当の年齢に達し前5号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者

2 前項の規定により入学を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

(再入学)

第22条 本学を退学した者で、本学に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前条第2項の規定は本条に適用する。

(転入学)

第22条の2 本学に転入学を希望する女子があるときは欠員の状況等により、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

2 第21条第2項の規定は、本条に適用する。

3 転入学に関して必要な事項は別に定める。

第8章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第23条 授業科目を分けて、学部共通科目、学科専門科目とする。

2 授業科目の種類、単位数等は別表第1のとおりとする。

(教職に関する科目)

第24条 前条に定めるもののほか、教職に関する科目を置く。

2 授業科目の種類、単位数等は別表第2のとおりとする。

(博物館に関する科目)

第25条 第23条に定めるもののほか、博物館に関する科目を置く。

2 授業科目の種類、単位数等は別表第3のとおりとする。

(授業の方法)

第25条の2 本学における授業の方法は、講義、演習、実習又は実技とする。

2 前項の授業は、メディアを利用して行うことがある。

(単位の計算方法)

第26条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義を中心とする授業については、15時間に相当する授業時間をもって1単位とする。

二 演習を中心とする授業については、15時間から30時間に相当する授業時間をもって1単位とする。

三 実験、実習及び実技を中心とする授業については、30時間から45時間に相当する授業時間をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(1年間の授業期間)

第27条 1年間の授業期間は、定期試験等を含めて原則として35週とする。

(各授業科目の授業期間)

第28条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、必要と認められる場合は、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(単位の授与)

第29条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第26条第2項の授業科目については、大学の定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

(学習の評価)

第30条 試験等の評価は、S・A・B・C・Dをもって表わし、C以上を合格とする。

(他学科の授業科目の履修)

第30条の2 学生が他学科の授業科目を履修することが教育上有益と認めるときは、許可を得て当該科目を履修することができる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第30条の3 本学が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合にも準用する。

3 第1項に定める単位認定に関して必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第30条の4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、第30条の3第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第2項に定める単位認定に関して必要な事項は別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第30条の5 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目の修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を本学に入学した後の授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。ただし、この認定に関連して修業年限の短縮は行わない。

2 学生が入学する前に行った第30条の4第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項による認定単位数は編入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第30条の3第1項、第2項及び第30条の4の本学で修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 第1項、第2項に定める単位認定に関して必要な事項は別に定める。

第9章 休学、留学、退学及び転学

(休学)

第31条 疾病その他特別の理由により6ヵ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため休学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学の延長を認めることができる。

2 休学は通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第15条の在学期間には算入しない。

(復学)

第33条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は学期の始めとする。

(留学)

第33条の2 外国の大学又は短期大学に留学を志願する者は、学長に願い出て許可を得なければならない。

2 留学した期間は第15条の在学期間に算入し、第30条の3第2項を適用する。ただし、休学して外国で学修する場合を除くものとする。

3 留学に関して必要な事項は別に定める。

(転学)

第34条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(転学科)

第34条の2 本学の学生で、本学の他学科に転学科を希望する者については、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、これを許可することができる。

2 転学科に関する事項は別に定める。

(退学)

第35条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(措置による退学)

第36条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が退学の措置を講ずる。

一 第15条に定める在学年限を超えた者

二 第32条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

三 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

四 長期間にわたり行方不明の者

第10章 卒業及び学士の学位等

(卒業の要件)

第37条 本学を卒業するためには、大学に4年以上在学し、所定の学部共通科目、学科専門科目から各学科の定める必修科目、選択科目を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

(卒業の認定)

第38条 本学に4年(第21条第1項及び第22条第1項の規定により入学した者については、それぞれ第2項により定められた在学すべき年数)以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

第38条の2 前条の規定にかかわらず、本学に修業年限以上在学し、卒業に必要な要件を満たす者のうち、引き続き本学に在学して学修の継続を希望する者については、第12条に規定する学期を単位として、在学期間の延長を許可することができる。

2 在学期間の延長について必要な事項は別に定める。

(学士の学位授与)

第39条 卒業を認定された者に対し、学士(芸術)の学位を授与する。

2 学位に関する規則は別に定める。

(資格の種類)

第40条 本学において取得することのできる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。

(1)教育職員免許状

学 科	免許状の種類	
	高等学校教諭 1種免許状	中学校教諭 1種免許状
美 術 学 科	美 術	美 術
デ ザ イン ・ 工 芸 学 科	美 術 ・ 工 芸	美 術
ア ー ト ・ デ ザ イン 表 現 学 科	美 術	美 術

(2)学芸員資格

美術学科、デザイン・工芸学科、アート・デザイン表現学科

第41条 高等学校及び中学校の教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許状及び同法施行規則に規定する科目及び単位数を取得しなければならない。

(学芸員資格の取得)

第42条 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法及び同法施行規則に規定する科目及び単位数を取得しなければならない。

第11章 賞罰

(表彰)

第43条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第44条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

二 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

三 正当な理由がなくて出席常でない者

四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 研究員、研修員、研究生、科目等履修生、特別聴講学生、委託生及び外国人留学生

(研究員、研修員)

第45条 本学において特定の専門事項について研究又は研修を希望する者がいるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て研究員又は研修員として受入れることがある。

2 研究員及び研修員について必要な事項は別に定める。

(研究生)

第46条 本学において特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、当該学科の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生について必要な事項は別に定める。

(科目等履修生)

第47条 本学の授業科目の履修を希望する者がいるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、科目等履修生として履修を許可する。

2 科目等履修生には、本学則第29条及び第30条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 科目等履修生について必要な事項は別に定める。

(特別聴講学生)

第 47 条の 2 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを希望する者があるときは、当該他大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 その他特別聴講学生に関する規則は別に定める。

(委託生)

第 47 条の 3 他の機関又は団体から派遣され、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、委託生として許可する。

2 委託生について必要な事項は別に定める。

(外国人留学生)

第 47 条の 4 外国人で、本学において教育を受ける目的をもって入国し、本学入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生について必要な事項は別に定める。

第 13 章 検定料、入学料、授業料その他の費用

(検定料等の額)

第 48 条 本学の検定料、入学料、授業料等の金額は別表第 4 に定めるとおりとする。

(授業料等の納付)

第 49 条 授業料、実習料、施設設備料、維持費は、年額の 2 分の 1 ずつを 2 期に分けて納付するものとする。ただし、前期分納付時に、後期分も併せて納付することができる。

前期納期 4 月 10 日

後期納期 10 月 5 日

2 第 1 項以外の費用は、全額を 4 月 10 日までに納付するものとする。

3 特別の事情があると認められる者は、延納を認めることがある。

(転学、退学等の場合の授業料等)

第 50 条 転学、退学した者については、在籍していた期までの授業料等を徴収する。ただし、第 36 条第三号又は第四号により退学の措置を講じられた者については、この限りではない。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学の場合の在籍料)

第 51 条 休学を許可され又は命ぜられた者については、在籍料として授業料相当額の 4 分の 1 を徴収する。

2 在籍料の減免措置については、別に定める。

(研究生、科目等履修生の授業料等)

第 52 条 研究生及び科目等履修生の授業料等については、別表第 4 に定める。

(納付した授業料等)

第 53 条 納付した検定料、入学料及び授業料等は、原則として返還しない。

第 14 章 厚生施設

(保健センター)

第 54 条 本学に保健センターを置く。

2 保健センターに関する規則は別に定める。

第 15 章 公開講座

(公開講座)

第 55 条 本学は社会人の生涯学習に寄与し、文化の向上に資するため、公開講座等を開設することができる。

付 則

この学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、昭和 46 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

1 この学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

2 この学則の第 30 条は、昭和 52 年度 1 年次入学生より適用する。

付 則

1 この学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

2 この学則第 48 条は、昭和 53 年度入学生より適用する。

付 則

1 この学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

2 この学則第 48 条は、昭和 54 年度入学生より適用する。

付 則

1 この学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この学則第 48 条は、昭和 55 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 56 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 23 条別表第一は、昭和 63 年度入学生より適用する。
- 3 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則第 48 条は、昭和 57 年度入学生より適用する。

付 則

この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 3 年 7 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 4 年 10 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 5 年 5 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 6 年度以前に入学した学生には、学則第 48 条を除き従前の学則を適用する。

付 則

この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 7 年度以前に入学した学生には、学則第 48 条及び第 50 条を除き従前の学則を適用する。

付 則

この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 8 年度以前に入学した学生には、学則第 48 条及び別表第三を除き従前の学則を適用する。

付 則

この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 10 年度以前に入学した学生には、学則第 4 条及び第 48 条を除き従前の学則を適用する。

付 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。なお、平成11年度以前に入学した学生には、学則第48条及び別表第四を除き従前の学則を適用する。

付 則

- この学則は、平成13年4月1日から施行する。なお、平成12年度以前に入学した学生には、学則第48条及び別表第四を除き従前の学則を適用する。
- この学則第2条第2項にかかわらず、平成13年度から平成15年度の学生定員は次のとおりとする。

平成13年度

第1年次

学 科		入学定員	編入定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻	90名		90名
	日本画専攻	36名		36名
工芸学科		50名		50名
立体アート学科		30名		30名
デザイン学科		145名		145名
メディアアート学科		100名		100名
ファッション造形学科		50名		50名
芸術学科		40名		40名

第2年次、第3年次、第4年次

学 科		入学定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻		300名
	日本画専攻		120名
デザイン学科	造形計画専攻		240名
	環境計画専攻		240名
工芸科			150名
芸術学科			150名

平成14年度

第1年次、第2年次

学 科		入学定員	編入定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻	90名		180名
	日本画専攻	36名		72名
工芸学科		50名		100名
立体アート学科		30名		60名
デザイン学科		145名		290名
メディアアート学科		100名		200名
ファッション造形学科		50名		100名
芸術学科		40名		80名

第3年次、第4年次

学 科		入学定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻		200名
	日本画専攻		80名
デザイン学科	造形計画専攻		160名
	環境計画専攻		160名
工芸科			100名
芸術学科			100名

平成 15 年度

第 1 年次、第 2 年次、第 3 年次

学 科		入学定員	編入定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻	90 名		270 名
	日本画専攻	36 名		108 名
工芸学科				150 名
立体アート学科			5 名	95 名
デザイン学科				435 名
メディアアート学科			10 名	310 名
ファッション造形学科			5 名	155 名
芸術学科				120 名

第 4 年次

学 科		入学定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻		200 名
	日本画専攻		80 名
デザイン学科	造形計画専攻		160 名
	環境計画専攻		160 名
工芸科			100 名
芸術学科			100 名

- 3 第 23 条に規程する専門科目の内、「コンピュータアート演習」(2 単位)は、デザイン科環境計画専攻及び工芸科の平成 12 年度入学生にも適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 13 年度以前に入学した学生には、学則第 30 条及び第 48 条を除き従前の学則を適用する。
- 2 この学則第 2 条第 2 項にかかわらず、平成 14 年度の学生定員は次のとおりとする。

平成 14 年度

第 1 年次、第 2 年次

学 科		入学定員	編入定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻	90 名		180 名
	日本画専攻	36 名		72 名
工芸学科		50 名		100 名
立体アート学科		30 名		60 名
デザイン学科		145 名		290 名
メディアアート学科		100 名		200 名
ファッション造形学科		50 名		100 名
芸術学科		40 名		80 名

第 3 年次、第 4 年次

学 科		入学定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻		200 名
	日本画専攻		80 名
デザイン学科	造形計画専攻		160 名
	環境計画専攻		160 名
工芸科			100 名
芸術学科			100 名

付 則

- 1 この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 14 年度以前に入学した学生には、学則第 48 条及び別表第 4 を除き従前の学則を適用する。

- 2 この学則第2条第2項にかかわらず、平成15年度の学生定員は次のとおりとする。

平成15年度

第1年次、第2年次、第3年次

学 科		入学定員	編入定員	収容定員
絵画学科	洋画専攻	90名	15名	285名
	日本画専攻	36名	3名	111名
工芸学科		50名	5名	155名
立体アート学科		30名	5名	95名
デザイン学科		145名	20名	455名
メディアアート学科		100名	10名	310名
ファッション造形学科		50名	5名	155名
芸術学科		40名	5名	125名

第4年次

学 科		入学定員	収容定員
絵画科	洋画専攻		100名
	日本画専攻		40名
デザイン科	造形計画専攻		80名
	環境計画専攻		80名
工芸科			50名
芸術学科			50名

- 3 第34条の2は、平成13年度入学生にも適用する。

- 4 第40条第2項は、平成14年度入学生にも適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成16年3月1日から施行する。
 2 再入学を志願する者は、学則第22条の規定にかかわらず、改正前の除籍された者を含むものとする。

付 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
 2 平成16年3月31日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
 2 平成17年3月31日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
 2 平成18年3月31日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
 2 平成19年3月31日現在在籍する者については、学則第30条の2を除き従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
 2 平成20年3月31日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
 2 平成21年3月31日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。なお、平成21年度以前に入学した学生には、学則第48条を除き従前の学則を適用する。
 2 この学則第2条第2項にかかわらず、平成22年度から平成24年度の学生定員は次のとおりとする。

平成 22 年度

第 1 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	200 名		200 名
デザイン・工芸学科	230 名		230 名
アート・デザイン表現学科	160 名		160 名

第 2 年次、第 3 年次、第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
絵画学科	洋画専攻		15 名
	日本画専攻		3 名
工芸学科		5 名	160 名
立体アート学科		5 名	100 名
デザイン学科		20 名	475 名
メディアアート学科		10 名	320 名
ファッション造形学科		5 名	160 名
芸術学科		5 名	130 名

平成 23 年度

第 1 年次、第 2 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	200 名		400 名
デザイン・工芸学科	230 名		460 名
アート・デザイン表現学科	160 名		320 名

第 3 年次、第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
絵画学科	洋画専攻		15 名
	日本画専攻		3 名
工芸学科		5 名	110 名
立体アート学科		5 名	70 名
デザイン学科		20 名	330 名
メディアアート学科		10 名	220 名
ファッション造形学科		5 名	110 名
芸術学科		5 名	90 名

平成 24 年度

第 1 年次、第 2 年次、第 3 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	200 名	14 名	614 名
デザイン・工芸学科	230 名	16 名	706 名
アート・デザイン表現学科	160 名	10 名	490 名

第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
絵画学科	洋画専攻		105 名
	日本画専攻		39 名
工芸学科			55 名
立体アート学科			35 名
デザイン学科			165 名
メディアアート学科			110 名
ファッション造形学科			55 名
芸術学科			45 名

付 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 27 年 7 月 23 日から施行する。

付 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

- この学則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 28 年度以前に入学した学生には、学則第 48 条を除き従前の学則を適用する。
- この学則第 2 条第 2 項にかかわらず、平成 29 年度から平成 31 年度の学生定員は次のとおりとする。

平成 29 年度

第 1 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名		190 名
デザイン・工芸学科	220 名		220 名
アート・デザイン表現学科	160 名		160 名

第 2 年次、第 3 年次、第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科		14 名	628 名
デザイン・工芸学科		16 名	722 名
アート・デザイン表現学科		10 名	500 名

平成 30 年度

第 1 年次、第 2 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名		380 名
デザイン・工芸学科	220 名		440 名
アート・デザイン表現学科	160 名		320 名

第 3 年次、第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科		14 名	428 名
デザイン・工芸学科		16 名	492 名
アート・デザイン表現学科		10 名	340 名

平成 31 年度

第 1 年次、第 2 年次、第 3 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名	14 名	584 名
デザイン・工芸学科	220 名	16 名	676 名
アート・デザイン表現学科	160 名	10 名	490 名

第 4 年次

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科			214 名
デザイン・工芸学科			246 名
アート・デザイン表現学科			170 名

付 則

この学則は、平成 30 年 2 月 1 日から施行する。

付 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日現在在籍する者については、従前の学則を適用する。

付 則

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

- 1 この学則は令和 5 年 4 月 1 日から施行する。なお、令和 4 年度以前に入学した学生には、従前の学則を適用する。
- 2 この学則第 2 条第 2 項にかかわらず、令和 5 年度から令和 7 年度の学生定員は次のとおりとする。

令和 5 年度

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名	14 名	788 名
デザイン・工芸学科	220 名	16 名	912 名
アート・デザイン表現学科	160 名	10 名	660 名
共創デザイン学科	60 名		60 名

令和 6 年度

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名	14 名	788 名
デザイン・工芸学科	220 名	16 名	912 名
アート・デザイン表現学科	160 名	10 名	660 名
共創デザイン学科	60 名		120 名

令和 7 年度

学 科	入学 定員	編入 定員	収容 定員
美術学科	190 名	14 名	788 名
デザイン・工芸学科	220 名	16 名	912 名
アート・デザイン表現学科	160 名	10 名	660 名
共創デザイン学科	60 名		180 名

別表第1

(1) 学部共通科目

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
学部共通科目	女子美基礎講座	2		1. 学部共通科目については、30単位以上を修得すること。女子美基礎講座、女子美の教養を必修とする。 2. 「グローバルな多様性社会に必要な知識を身につける」については、6単位以上修得すること。 (1) 日本語A、Bは外国人留学生のみ履修でき、且つ必修とする。 3. 「美大生としての基礎力・創造力を養う」については、10単位以上を修得すること。 4. 「アートを社会と生活に生かす」については、2単位以上を修得すること。 5. 「語学力を高めて世界で活躍する」については、4単位以上修得し、以下の科目より2単位以上修得すること。 Joshibi Foundation English Joshibi Global English Joshibi Art English English Conversation English in Film and the Performing Arts 6. 教員免許状を取得する者は、教育原論、教育心理学、法学（日本国憲法）、健康科学を必修とする。 7. 学芸員資格を取得する者は、博物館概論、生涯学習概論、博物館展示論、博物館教育論を必修とする。
	女子美の教養	2		
	ジェンダー研究		2	
	ジェンダーとアート研究		2	
	歴史の中の女性		2	
	女性と法		2	
	ジェンダー論		2	
	ジェンダーとアート概論		2	
	情報とアート		2	
	人権・ダイバーシティとアート		2	
	哲学		2	
	歴史学		2	
	文学		2	
	文化人類学		2	
	思想史		2	
	コミュニケーション論		2	
	比較文化論		2	
	異文化理解		2	
	言語学		2	
	伝統文化論		2	
	法学（日本国憲法）		2	
	社会福祉学		2	
	国際関係論		2	
	経済学		2	
	観光学		2	
	教育原論		2	
	アートと法入門		2	
	芸術文化政策論		2	
	日本語A		1	
	日本語B		1	
	環境とアート		2	
	身体とアート		2	
	数理科学		2	
生命科学		2		
心理学		2		
教育心理学		2		
青年心理学		2		
環境論		2		
スポーツ演習A		1		
スポーツ演習B		1		
健康科学A		1		
健康科学B		1		
精神保健		2		
行動心理学		2		
身体機能論		2		

科目区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
学部 共通科目	美大生としての基礎力・創造力を養う 芸術	音楽とアート		2	
		古美術研究		2	
		西洋美術史概説		2	
		西洋美術史特論A		2	
		西洋美術史特論B		2	
		西洋美術史特論C		2	
		日本美術史概説		2	
		日本美術史特論A		2	
		日本美術史特論B		2	
		日本美術史特論C		2	
		東洋美術史概説		2	
		東洋美術史特論A		2	
		東洋美術史特論B		2	
		美学		2	
		現代美学		2	
		芸術学A		2	
		芸術学B		2	
		芸術学C		2	
		現代美術論		2	
		デザイン史A		2	
		デザイン史B		2	
		印刷概論		2	
		美術解剖学A		2	
		美術解剖学B		2	
		図学A		2	
		図学B		2	
		書道A		1	
		書道B		1	
		文化遺産学		2	
		写真史		2	
		色彩学A		2	
		色彩学B		2	
		造形心理学		2	
		実践するアート	アートを社会と生活に生かす	プロジェクト・スタディーズ	
アーティスト・イン・レジデンス				2	
国際芸術プログラム				2	
地域共創学				2	
アーティスト・イン・レジデンス概論				2	
カラーコーディネート基礎				2	
表現と癒しの営み				2	
子ども発達論				2	
インテリアデザイン史				2	

科目区分	授業科目		単位数		備考
	必修	選択			
学部 共通 科目	アート を社会 と生活 に生かす	キャリア アリア テラシ ー		1	
				2	
				3	
				4	
				2	
				2	
				2	
				2	
				2	
				2	
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		
			1		

(2) 学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
美術学 共通科目	アート・プラクティスⅠ		2	芸術文化専攻は 何れか2単位 必修とする。	
	アート・プラクティスⅡ		2		
	アート・アクティビティA		2		
	アート・アクティビティB		2		
	色彩文化概論		2		芸術文化専攻 は何れか2単位 必修とする。
	配色調和論		2		
	視覚心理学		2		
	カラーキャリアⅠ		2		
	カラーキャリアⅡ		2		
	技法史		2		
	文化資源学		2		芸術文化専攻 は何れか2単位 必修とする。
	ヴィジュアルスタディーズA		2		
	ヴィジュアルスタディーズB		2		芸術文化専攻 は何れか2単位 必修とする。
	デザイン批評A		2		
	デザイン批評B		2		
	芸術人類学		2		
	芸術民俗学		2		
	芸術政策と法		2		
	創作活動と法		2	洋画専攻、日本画専攻、立体アート専攻、 美術教育専攻は6単位必修とする。	
	美術選択実技A（油彩画）		2		
	美術選択実技A（リトグラフ）		2		
	美術選択実技A（日本画）		2		
	美術選択実技A（彫塑）		2		
	美術選択実技A（立体）		2		
	美術選択演習A（素描/描写）		2		
	美術選択演習A（パネル作製）		1		
	美術選択演習A（紙）		1		
	美術選択演習A（日本画）		2		
	美術選択演習A（金工/ジュエリー）		2		
	美術選択演習A（繊維/フェルト）		2		
	美術選択演習A（CG）		2		
	美術選択演習A（写真）		2		
	美術選択演習A（メディア）		2		
	絵画素材論A		1		
	美術選択実技B（油彩画）		2		
	美術選択実技B（古典技法）		2		
	美術選択実技B（銅版画）		2		
	美術選択実技B（日本画）		2		
	美術選択実技B（彫塑）		2		
	美術選択実技B（立体）		2		
	美術選択演習B（素描/描写）		2		
	美術選択演習B（パネル作製）		1		
美術選択演習B（紙）		1			
美術選択演習B（日本画）		2			
美術選択演習B（金工/ジュエリー）		2			
美術選択演習B（繊維/フェルト）		2			
美術選択演習B（写真）		2			
美術選択演習B（メディア）		2			
美術選択演習B（製本）		2			
美術選択演習B（3D・CG初級）		1			
美術選択演習B（3D・CG中級）		1			
絵画素材論B		1			
石彫		1			
芸術文化オープンゼミⅠ		2	芸術文化専攻は必修とする。 美術教育専攻は必修とする。		
芸術文化オープンゼミⅡ		4			
美術教育論A		2			
美術教育論B		2			
芸術文化オープンゼミⅢ		4			

科目 区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
美 術 学 科 専 攻 領 域 専 門 科 目	絵画ⅠA		6	洋画専攻は必修とする。
	絵画ⅠB		5	
	基礎構成演習		2	美術教育専攻は必修とする。
	デッサンⅠ		2	
	日本画基礎ⅠA		7	日本画専攻は必修とする。
	日本画基礎ⅠB		5	
	彫塑基礎Ⅰ		7	立体アート専攻は必修とする。
	素材演習		3	
	絵画		2	美術教育専攻は必修とする。
	彫塑概論		2	
	造形表現基礎ⅠA a		3	美術教育専攻は必修とする。
	造形表現基礎ⅠA b		1	
	造形表現基礎ⅠA c		1	美術教育専攻は必修とする。
	造形表現基礎ⅠB		2	
	デザイン・工芸選択実技B		2	美術教育専攻は必修とする。
	芸術文化基礎ⅠA		2	
	芸術文化基礎ⅠB		2	
	芸術文化基礎ⅠC		2	芸術文化専攻は必修とする。
	グローバルコミュニケーションⅠ		2	
	海外芸術研修ⅠA		2	美術教育専攻はどれか2単位必修とする。 芸術文化専攻は以下の科目よりどれか2単位必修とする。 デザイン工芸論A、デザイン工芸論B、印刷概論、工芸史A、工芸史B
	海外芸術研修ⅠB		2	
	日本文化研修A		2	美術教育専攻はどれか2単位必修とする。 芸術文化専攻は以下の科目よりどれか2単位必修とする。 デザイン工芸論A、デザイン工芸論B、印刷概論、工芸史A、工芸史B
	デザイン・工芸論A		2	
	デザイン・工芸論B		2	12単位
	絵画ⅡA		4	
	絵画ⅡB		8	12単位
	版画Ⅰ		10	
	版画表現演習Ⅰ		2	洋画専攻はどれか12単位必修とする。
	デッサンⅡ		2	
	日本画基礎ⅡA		7	日本画専攻は必修とする。
	日本画基礎ⅡB		7	
	彫塑基礎Ⅱ		2	立体アート専攻は必修とする。
	素材実習		5	
	立体基礎		3	美術教育専攻は必修とする。
	工芸		2	
	造形表現基礎ⅡA a		4	美術教育専攻は必修とする。
	造形表現基礎ⅡA b		1	
	造形表現基礎ⅡA c		1	美術教育専攻は必修とする。
	造形表現基礎ⅡB		2	
	美術教育演習A		2	美術教育専攻は必修とする。
美術科教育内容指導論A		2		
芸術文化基礎ⅡA		2	芸術文化専攻は必修とする。	
芸術文化基礎ⅡB		2		
芸術文化基礎ⅡC		2	芸術文化専攻は必修とする。	
グローバルコミュニケーションⅡ		2		
海外芸術研修ⅡA		2	芸術文化専攻は必修とする。	
海外芸術研修ⅡB		6		
日本文化研修B		2	芸術文化専攻は以下の科目よりどれか2単位必修とする。 デザイン工芸論A、デザイン工芸論B、印刷概論、工芸史A、工芸史B	
芸術文化ゼミⅠ		2		
印刷概論		2	芸術文化専攻は以下の科目よりどれか2単位必修とする。 デザイン工芸論A、デザイン工芸論B、印刷概論、工芸史A、工芸史B	
工芸史A（染織）		2		
工芸史B（陶ガラス）		2		

科目区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
美術学	絵画ⅢA		8	15単位 洋画専攻は何れか15単位必修とする。	
	絵画ⅢB		7		
	版画Ⅱ		11		
	素材実験Ⅰ		2		15単位
	版画表現演習Ⅱ		2		
	日本画研究ⅠA		8	日本画専攻は必修とする。	
	日本画研究ⅠB		8		
	造形表現演習		2	立体アート専攻は必修とする。	
	塑造ⅠA		7	14単位	立体アート専攻は何れか14単位必修とする。
	塑造ⅠB		7		
	紙ⅠA		7	14単位	
	紙ⅠB		7		
	木ⅠA		7	14単位	
	木ⅠB		7		
	石ⅠA		7	14単位	
	石ⅠB		7		
	金属ⅠA		7	14単位	
	金属ⅠB		7		
	造形表現研究ⅠA a		4	美術教育専攻は必修とする。	
	造形表現研究ⅠA b		1		
	造形表現研究ⅠA c		1		
	造形表現研究ⅠB		2		
	デッサンⅢ		2		
	デザイン・工芸選択実技A		2		
	美術教育演習B		2		
	美術科教育内容指導論B		2		
	グローバルコミュニケーションⅢ		2		芸術文化専攻は必修とする。
	芸術文化ゼミⅡ(芸術表象)		4		芸術文化専攻は何れか4単位必修とする。
	芸術文化ゼミⅡ(美術史)		4		
	芸術文化ゼミⅡ(色彩)		4		
	絵画Ⅳ		8	洋画専攻は何れか8単位必修とする。	
	版画Ⅲ		7		
	素材実験Ⅱ		1	日本画専攻は必修とする。	
	日本画研究Ⅱ		8		
	塑造Ⅱ		8	立体アート専攻は何れか8単位必修とする。	
	紙Ⅱ		8		
木Ⅱ		8			
石Ⅱ		8			
金属Ⅱ		8			
造形表現研究Ⅱ		8	美術教育専攻は必修とする。		
芸術文化ゼミⅢ(芸術表象)		4	芸術文化専攻は何れか4単位必修とする。		
芸術文化ゼミⅢ(美術史)		4			
芸術文化ゼミⅢ(色彩)		4			
卒業制作		10	洋画専攻、日本画専攻、立体アート専攻は必修とする。		
卒業研究		10	美術教育専攻は必修とする。		
卒業研究		4	芸術文化専攻は必修とする。		

科目 区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
デ ザ イ ン ・ 工 芸 学 科	デザイン・工芸選択実技A	2		卒業のためには、学科専門科目について94単位以上修得すること。
	デザイン・工芸選択実技B	2		
	デザイン・工芸論A	2		
	デザイン・工芸論B	2		
	デザイン図法		2	プロダクトデザイン専攻、環境デザイン専攻は必修とする。
	コンピュータプレゼン演習A		2	
	コンピュータプレゼン演習B		2	
	色彩計画演習		2	
	素材演習A		2	
	素材演習B		2	
	素材演習C		2	
	素材演習D		2	
	素材演習E		2	
	素材演習F		2	
	バリアフリー演習		1	
	マーケティング論		2	
	人間工学論		2	
	デザインと法		2	
	展示計画論		2	
	デザイン心理学		2	
	デザインサーベイ論		2	
	インテリアデザイン史		2	
	日本服装史		2	
	文様史		2	
	伝統染織文化論		2	
	テキスタイル表現論		2	
	空間演出論		2	
	現代造形論		2	
	広告論		2	
	写真史		2	
	造形演習A		2	
	造形演習B		2	
	造形演習C		2	
	造形演習D		2	
	エコロジカルプランニング演習		1	
	ライティング演習		1	
	印刷概論		2	デジタルデザイン専攻は必修とする。
	ヴィジュアルデザイン概論		2	デジタルデザイン専攻は必修とする。
	プロダクトデザイン概論		2	プロダクトデザイン専攻は必修とする。
	環境デザイン概論		2	環境デザイン専攻は必修とする。
	工芸史A(染織)		2	工芸専攻は何れか2単位必修とする。
	工芸史B(陶ガラス)		2	
	映像表現演習A		2	
	映像表現演習B		2	
写真演習		2		
英語プレゼンテーション		2		
建築材料学		2		
建築生産I		1		
建築生産II		1		
建築法規		1		
構造計画		2		
建築設備		2		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
デザイン領域・工芸学科	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-A		2	ヴィジュアルデザイン専攻は必修とする。
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-B		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-C		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-D		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-E		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-F		2	
	表現演習Ⅰ		2	リネオグラフィ専攻、ノログラフィ専攻は必修とする。
	プロダクトデザイン基礎演習A		2	
	プロダクトデザイン基礎演習B		2	プロダクトデザイン専攻は必修とする。
	プロダクトデザイン基礎演習C		2	
	プロダクトデザイン基礎演習D		2	
	プロダクトデザイン基礎演習E		2	
	プロダクトデザイン基礎演習F		2	
	CG演習Ⅰ		2	
	環境デザイン基礎演習A		2	
	環境デザイン基礎演習B		2	
	環境デザイン基礎演習C		2	
	環境デザイン基礎演習D		2	
	環境デザイン基礎演習E		2	
	環境デザイン基礎演習F		2	環境デザイン専攻、工芸専攻は必修とする。
	CG演習		2	
	工芸基礎(染)		2	工芸専攻は必修とする。
	工芸基礎(織)		2	
	工芸基礎(刺繍)		2	
	工芸基礎(陶)		2	
	工芸基礎(ガラス)		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-A		2	ヴィジュアルデザイン専攻は必修とする。
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-B		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-C		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-D		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-E		2	
	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-F		2	
	表現演習Ⅱ-A		2	プロダクトデザイン専攻は必修とする。
	表現演習Ⅱ-B		2	
	プロダクトデザイン演習A		2	プロダクトデザイン専攻は必修とする。
	プロダクトデザイン演習B		2	
	プロダクトデザイン演習C		2	
	プロダクトデザイン演習D		2	
	プロダクトデザイン演習E		2	
	プロダクトデザイン演習F		2	
CG演習Ⅱ		2	環境デザイン専攻は必修とする。	
表現演習Ⅱ		2		
プロダクトデザイン史		2		
環境デザイン演習A		2		
環境デザイン演習B		3		
環境デザイン演習C		2		
環境デザイン演習D		2	18単位	
環境デザイン演習E		2		
製図演習		2	工芸専攻はどれか18単位必修とする。	
CAD演習		2		
プレゼン演習Ⅰ		2		
染Ⅰ		5		
織Ⅰ		5		
刺繍Ⅰ		4	18単位	
材料学A(繊維)		4		
陶Ⅰ		7		
ガラスⅠ		7		
材料学B(陶ガラス)		4		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
デザイン領域・工芸学科	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-A		2	ヴィジュアルデザイン専攻は必修とする。
	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-B		2	
	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-C		2	
	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-D		2	
	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-E		2	
	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-F		2	
	表現演習Ⅲ-A		2	プロダクトデザイン専攻は必修とする。
	表現演習Ⅲ-B		2	
	3D-CG演習		2	プロダクトデザイン専攻は12単位必修とする。
	プロダクトデザインⅠAa		3	
	プロダクトデザインⅠAb		3	
	プロダクトデザインⅠBa		3	
	プロダクトデザインⅠBb		3	
	プロダクトデザインⅠCa		3	
	プロダクトデザインⅠCb		3	
	プロダクトデザインⅠDa		3	
	プロダクトデザインⅠDb		3	
	構造演習		2	環境デザイン専攻は必修とする。
	プレゼン演習Ⅱ		2	
	環境デザインⅠAa		2	環境デザイン専攻は11単位必修とする。
	環境デザインⅠAb		2	
	環境デザインⅠBa		2	
	環境デザインⅠBb		2	
	環境デザインⅠCa		2	
	環境デザインⅠCb		2	
	環境デザインⅠDa		2	
	環境デザインⅠDb		2	
	環境デザインⅠEa		3	
	環境デザインⅠEb		3	
	プレゼンテーション演習		2	工芸専攻は必修とする。
	染ⅡA		7	
	染ⅡB		7	14単位
	織ⅡA		7	
	織ⅡB		7	14単位
刺繍ⅡA		7		
刺繍ⅡB		7	14単位	
陶ⅡA		7		
陶ⅡB		7	14単位	
ガラスⅡA		7		
ガラスⅡB		7	14単位	
ヴィジュアルデザイン演習Ⅱ-A		4		ヴィジュアルデザイン専攻は必修とする。
ヴィジュアルデザイン演習Ⅱ-B		4		
プロダクトデザインⅡAa		3	プロダクトデザイン専攻は6単位必修とする。	
プロダクトデザインⅡAb		3		
プロダクトデザインⅡBa		3		
プロダクトデザインⅡBb		3		
環境デザインⅡAa		4	環境デザイン専攻は8単位必修とする。	
環境デザインⅡAb		4		
環境デザインⅡBa		4		
環境デザインⅡBb		4		
染Ⅲ		8	工芸専攻は何れか8単位必修とする。	
織Ⅲ		8		
刺繍Ⅲ		8		
陶Ⅲ		8		
ガラスⅢ		8		
卒業制作		10		

科目 区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
ア ー ト ・ 学 デ ザ イ ン 表 現 学 科	アート・デザイン表現基礎演習 A	2		卒業のためには、学科専門科目について94単位以上修得すること。
	アート・デザイン表現基礎演習 B	2		
	アート・デザイン表現基礎演習 C	2		
	アート・デザイン表現基礎演習 D	2		
	宇宙・人間・アート	2		
	アート表現論	2		
	メディア概論		2	メディア表現領域は必修とする。
	ヒーリング・デザイン概論		2	ヒーリング表現領域は必修とする。
	癒しの文化論		2	
	ファッションデザイン史		2	ファッションテキスタイル表現領域は必修とする。
	ファッション&テキスタイル概論		2	
	ミュージアムデザイン概論		2	アートプロデュース表現領域は必修とする。
	アートプロデュース概論		2	
	アート・デザイン表現演習 I	2		
	カラーセラピー概論		2	ヒーリング表現領域は必修とする。
	キャラクター文化論		2	
	メディアアート概論		2	メディア表現領域は何れか8単位必修とする。
	演出概論		2	
	メディアコミュニケーション論		2	ファッションテキスタイル表現領域は何れか2単位必修とする。 アートプロデュース表現領域は必修とする。
	国際交流文化概論 A		2	
	国際交流文化概論 B		2	ヒーリング表現領域は何れか2単位必修とする。
	伝統・先端		2	
	ファッション文化論		2	ファッションテキスタイル表現領域は必修とする。
	子ども発達論		2	ヒーリング表現領域は何れか2単位必修とする。
	絵本芸術論		2	
	子どもの福祉デザイン概論		2	アートプロデュース表現領域は必修とする。
	現代文化概論		2	
	映像文化概論		2	
	ファシリテーションデザイン概論		2	
	プレゼンテーション技法論		2	
	アート・デザイン表現演習 II	2		
	デジタル知的財産概論		2	メディア表現領域は必修とする。
	メディア文化論特講		2	メディア表現領域は何れか4単位必修とする。
メディアマネジメント論		2		
コンテンツプロデュース論		2		
芸術療法概論		2	ヒーリング表現領域は必修とする。	
空間デザイン概論		2		
生態学		2	ファッションテキスタイル表現領域は必修とする。	
心とアートの心理学		2		
アンケート調査・分析法		2		

科目 区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
ア ー ト ・ デ ザ イ ン 表 現 学 科	コミュニケーションデザイン演習 A		2	メディア表現領域、アートプロデュース表現領域は必修とする。
	コミュニケーションデザイン演習 B		2	
	映像基礎演習		2	
	空間基礎演習		2	
	素材表現演習 A		2	ヒーリング表現領域は必修とする。
	素材表現演習 B		2	
	キャラクター制作基礎演習		2	
	ワークショップ演習		3	
	素材基礎演習		5	ファッションテキスト表現領域は必修とする。
	造形基礎演習		5	
	メディアアート演習 I		2	メディア表現領域は必修とする。
	メディアデザイン演習 I		2	
	メディア空間演習		2	
	アニメーション演習		2	
	サウンドデザイン演習		2	
	ストーリー表現演習		2	
	キャラクターデザイン演習		2	ヒーリング表現領域は必修とする。
	ヒーリング・デザイン実習 A		2	
	ヒーリング・デザイン実習 B		2	
	絵本制作基礎演習		3	
	装丁技法演習		1	
	壁画技法演習		4	
	コンピュータグラフィックス演習		1	ファッションテキスト表現領域は必修とする。
	ファッション演習 A		3	
	ファッション演習 B		3	
	テキスタイル演習 A		2	
	テキスタイル演習 B		2	
	感覚発達演習		2	
	子ども発達演習		2	アートプロデュース表現領域は必修とする。
	コンピュータデザイン演習		2	
アートプロデュース演習 I		2		
アートマネジメント演習 I		2		
ミュージアムスタディ演習 I		2		
ミュージアム・エデュケーション演習 I		2		
音楽プロデュース演習 I		2		
舞台芸術プロデュース演習 I		2		
アートコミュニケーション演習		2		

科目区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
アート・デザイン表現学科	メディアアクション演習		5	メディア表現領域は必修とする。	
	メディアアート演習ⅡA		6	メディア表現領域はどれか6単位必修とする。	
	メディアアート演習ⅡB		6		
	メディアデザイン演習ⅡA		6		
	メディアデザイン演習ⅡB		6		
	プロジェクト&コラボレーション演習		4		メディア表現領域、ヒーリング表現領域は必修とする。
	ヒーリング・アートプロジェクト演習		3	ヒーリング表現領域、アートプロデュース表現領域は必修とする。	
	キャラクター制作演習		3	どれか3単位	
	形態表現演習		3		
	絵本作成演習		3	どれか3単位	ヒーリング表現領域は9単位必修とする。
	子どもの道具デザイン演習A		3		
	壁画制作演習		3	どれか3単位	
	子どもの道具デザイン演習B		3		
	ファッションテキストⅠA		4	ファッションテキスト表現領域は必修とする。	
	ファッションテキストⅠB		5		
	アートディレクション演習		2		
	アートプロデュース演習Ⅱ		2	アートプロデュース表現領域は必修とする。	
	アートマネジメント演習Ⅱ		2		
	ミュージアムスタディ演習Ⅱ		2		
	ミュージアム・エデュケーション演習Ⅱ		2		
	音楽プロデュース演習Ⅱ		2		
	舞台芸術プロデュース演習Ⅱ		2		
	メディアアクション実習		7	メディア表現領域は必修とする。	
	ヒーリング・クリエイションA		3	3単位	ヒーリング表現領域は6単位必修とする。
	ヒーリング・クリエイションB		3		
	ヒーリング・クリエイションC		3	3単位	
ヒーリング・クリエイションD		3			
ファッションテキストⅡ		5	ファッションテキスト表現領域は必修とする。		
着物文化演習		2			
身体衣服論		2			
総合アートプロデュース実習		5	アートプロデュース表現領域は必修とする。		
卒業制作		10	メディア表現領域、ヒーリング表現領域、ファッションテキスト表現領域は必修とする。		
卒業研究		10	アートプロデュース表現領域は必修とする。		

科目 区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
		必修	選択		
共 創 デ ザ イ ン 学 科	共創デザイン演習 I-A	2		卒業のためには、学科専門科目について94単位以上修得すること。	
	共創デザイン演習 I-B	2			
	共創デザイン演習 I-C	2			
	共創デザイン演習 I-D	2			
	共創デザイン演習 I-E	2			
	共創デザイン演習 I-F	2			
	共創デザイン演習 I-G	2			
	共創デザイン演習 I-H	2			
	共創デザイン実践 I	2			
	共創デザイン概論	2			
	ライフマネジメント論 I	2			
	ビジネスデザイン概論	2			
	コミュニケーション特論 I	2			
	デザイン基礎集中演習		2		
	ドローイング演習		2		
	プログラミング演習		2		
	インクルーシブデザイン論		2		
	自律的キャリア教育		2		
	産官学連携演習		2		
	産官学連携実践		1		
	共創デザイン演習 II-A	2			
	共創デザイン演習 II-B	2			
	共創デザイン演習 II-C	2			
	共創デザイン演習 II-D	2			
	共創デザイン演習 II-E	2			
	共創デザイン実践 II	2			
	行動デザイン論	2			
	コミュニケーション特論 II	2			
	ライフマネジメント論 II-A	2			
	ライフマネジメント論 II-B	2			
	共創デザイン選択演習 II-A		2		何れか2単位必修とする。
	共創デザイン選択演習 II-B		2		
共創デザイン選択演習 II-C		2	何れか2単位必修とする。		
共創デザイン選択演習 II-D		2			
共創デザイン演習 II-F		2			
人間工学 (スペース&プロダクト)		2			
コミュニケーション特論 III		2			
感性異分野共創論 I		2			
ソーシャルグッドネスデザイン論		2			

科目区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
共創デザイン専攻	留学認定科目A		2		
	留学認定科目B		4		
	留学認定科目C		6		
	留学認定科目D		8		
	留学認定科目E		10		
	共創デザイン演習Ⅲ-A	2			
	共創デザイン演習Ⅲ-B	2			
	共創デザイン実践Ⅲ	2			
	知財・ファイナンス概論	2			
	ライフマネジメント論Ⅲ-A	2			
	ライフマネジメント論Ⅲ-B	2			
	ファシリテーション論	2			
	共創デザイン選択演習Ⅲ-A		2		何れか2単位必修とする。
	共創デザイン選択演習Ⅲ-B		2		
	共創デザイン選択演習Ⅲ-C		2		
	共創デザイン選択演習Ⅲ-D		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa		2		何れか2単位必修とする。
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ba		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ca		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Da		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab		2		何れか2単位必修とする。
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Bb		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Cb		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Db		2		
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb		2		
感性異分野共創論Ⅱ		2			
共創デザイン実践Ⅳ	2				
卒業研究	8				
ライフマネジメント論Ⅳ-A		2			
ライフマネジメント論Ⅳ-B		2			

別表第2

教職に関する科目

授 業 科 目	単位数		備 考	
	必修	選択		
教職概論		2	1. 教育原論、教育心理学、青年心理学は学部共通科目内の開設科目	
教育原論		2		
教育課程論		2		
教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）		2		
特別支援教育論		1		
教育心理学		2		
青年心理学		2		
教育制度論		2		
特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）		2		
道徳教育論		2		高免のみの取得希望者は不要
美術科・工芸科教育法Ⅰ		2		美術科の免許状を取得する者は必修
美術科・工芸科教育法Ⅱ		2		
美術科・工芸科教育法Ⅲ		2		
美術科・工芸科教育法Ⅳ		2		
美術科・工芸科教育法Ⅴ		2		工芸科の免許状を取得する者は必修
美術科・工芸科教育法Ⅵ		2		
生徒指導論（進路指導を含む）		2		
教育相談論		2		
教育実習指導		1		
教育実習Ⅰ		2	高免のみの取得希望者は不要	
教育実習Ⅱ		2		
教職実践演習（中・高）		2		

別表第3

博物館に関する科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
博物館概論		2	1. 博物館概論、生涯学習概論、博物館展示論、博物館教育論は学部共通科目内の開設科目
生涯学習概論		2	
博物館経営論		2	
博物館展示論		2	
博物館教育論		2	
博物館資料論		2	
博物館資料保存論		2	
博物館情報・メディア論		2	
博物館実習		2	

別表第4

入学料・授業料および検定料その他

項 目		金 額	
入学料 (初年度のみ)	1年次	220,000円 (110,000円)	
	3年次編入学	220,000円 (110,000円)	
	転入学	220,000円 (20,000円)	
施設設備料 (年額)		360,000円	
維持費 (年額)		50,000円	
授業料 (年額)		1,198,000円	
実習料 (年額)		20,000～148,000円	
入学検定料	1年次	30,000円 (15,000円)	
	3年次編入学	30,000円 (15,000円)	
	転入学	30,000円 (15,000円)	
科目等履修生	履修料 (1単位)	講義	22,000円
		演習	32,300円
		実技実習	39,600円
	検定料		5,000円 (3,000円)
研究生	授業料等	入学料	100,000円
		授業料 (年額)	887,600円
		実習料 (年額)	38,200～71,200円
	検定料		10,000円

備考

1. 入学料1年次の()内の金額は、本学付属高等学校からの推薦入学者に適用する。
2. 入学料3年次編入学及び入学検定料3年次編入学の()内の金額は、併設短大、本学に2年以上在学し62単位以上修得した者及び本学卒業者の場合に適用する。
3. 入学検定料1年次の()内の金額は、本学園卒業・修了・在學生、または、本学の他学科・専攻及び併設短大本科に併願した場合に適用する。
4. 入学料転入学及び入学検定料転入学の()内の金額は、本学學生の場合に適用する。
5. 実習料はその専攻する内容によって定める。
6. 第2年次以降の授業料はスライド制授業料とする。
7. 科目等履修生で実技実習を履修する場合は、履修料のほか必要な実習料を徴収する。
8. 科目履修生の検定料の()内の金額は、本学卒業・修了生に適用する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・	p. 2
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・	p. 2
	（ア）教育課程の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 2
	（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容・・・・・・・・	p. 3
	（ウ）教員組織の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 4
	（エ）施設・設備の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 4

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

本学では、令和5年4月から、芸術学部へ共創デザイン学科（入学定員60人、収容定員240人）を設置（令和4年4月設置届出予定）することとしており、共創デザイン学科の設置届出に伴う収容定員に係る学則変更の認可申請を行うこととした。

なお、共創デザイン学科の設置は、「特定地域内学部等収容定員の抑制に係る除外規定の適用を前提とした設置等」として計画していることから、特定地域内の女子美術大学短期大学部造形学科の入学定員を180人から120人に変更し、特定地域内の4年制の大学の学部の学科として設置することとしている。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学の芸術学部では、現在、美術学科（5専攻）、デザイン・工芸学科（4専攻）、アート・デザイン表現学科（4領域）の3学科9専攻4領域体制により、芸術教育に関する幅広い教育研究を展開してきたが、近年、社会的な要請の変化や進学希望者の興味と関心に応じた教育研究体制の充実と整備が必要となってきた。

今後、本学が社会の多様な期待や要請に適切に応え、自律性に基づく多様化や個性化を推進していくためには、自らの責任において、社会や学生のニーズに対応した教育組織の構築や教育内容の充実、教育方法の改善など、学部教育における組織改革と教育改革に格段の努力を注ぐことが重要となってきた。

このことから、本学では、「伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインする能力を身に付け、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能力を備えた人材の養成」を目的として、令和5年4月から、芸術学部へ共創デザイン学科を設置することとした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

共創デザイン学科では、職業生活や社会生活でも必要となる幅広く深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性、汎用的な技能及び美術分野の基礎的な知識と能力を身に付けるとともに、専門分野における基礎的な知識を体系的に理解することから、教育課程を「学部共通科目」と「学科専門科目」から編成している。

「学部共通科目」では、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義を踏まえたうえで、多様性が尊重されるグローバル社会において必要となる幅広く深い教養とコミュニケーションスキル、創造的思考力・判断力及び美術分野における基礎的な

知識と能力を身に付けるために必要な科目群と科目構成による教育課程の編成として
いる。

「学科専門科目」では、専門分野の基礎的な理論や方法論の修得を中心とする教育内
容を基礎としつつ、幅広い基礎力の修得を重視した教育課程の編成としていたるとも
に、人材の養成に関する目的を達成するために必要な科目構成、科目の対応関係、履修
順序や配当年次などに配慮した体系的な教育課程の編成としている。

今般、設置を計画している共創デザイン学科では、「デザインの基礎的・基本的な知
識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、地域や産業の振興を図るための
創造的な能力と実践的な姿勢を育成すること」を教育目標とし、「伝達や用途などの目
的や機能を考え、デザインする能力を身に付け、顧客や消費者をはじめとする多様な立
場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能
力を備えた人材の養成」という目的を達成するための教育課程の編成としている。

なお、共創デザイン学科の設置に伴い、「学部共通科目」については、学生の履修希
望に対応できる開講コマ数を整備するなど、既設の学科における授業科目の履修に支
障をきたすことのないよう配慮することにより、変更前と同等の内容を担保すること
としている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

共創デザイン学科では、専門分野の基礎的な理論や方法論の修得を中心とする教育
内容としていることから、授業の方法としては、講義・演習・実技を効果的に組み合わ
せて行うこととしており、授業を行う学生数については、授業の内容や授業の方法、施
設や設備の状況、実技の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分に
あげられる人数とすることとしている。

また、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学
生が修得すべき単位数について、1学年間に履修科目として登録することができる単
位数の上限を定める。履修指導方法については、共創デザイン学科における人材の養成
に関する目的への理解を促すとともに、4年間の学習計画に基づく体系的な科目履修
が可能となるようにすることから、履修モデルを提示する。【資料1】

なお、共創デザイン学科の設置に伴う教育方法及び履修指導方法における既設学科
への影響等はないものと考えている。

(ウ) 教員組織の変更内容

共創デザイン学科では、大学設置基準に定める基準教員数6人に対して6人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置することとしている。職位別の配置計画は、教授3人、准教授3人、年齢構成は、60歳台2人、50歳台2人、40歳台2人から構成することとしており、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

また、共創デザイン学科の設置に伴う、既設学科からの専任教員の異動及び専任教員の新規採用については、既設のデザイン・工芸学科から専任教員1人（うち教授1人）を異動するとともに、専任教員5人（うち教授2人）を新規に採用することとしており、共創デザイン学科における専任教員1人当たりの学生数は40人と、ST比を考慮したきめ細やかな授業が運営できるよう計画している。

なお、共創デザイン学科の設置に伴い、既設のデザイン・工芸学科から専任教員1人（うち教授1人）を異動することとしているが、デザイン・工芸学科では、現在、大学設置基準に定める基準教員数12人に対して23人の専任教員を配置していることから、変更前と同等の内容を担保することができるものと考えている。

(エ) 施設・設備の変更内容

1 校地、運動場の整備計画

共創デザイン学科を設置する杉並キャンパスは東京都杉並区和田に位置し、現在、校地面積は17,733.50㎡を有している。その内訳は、校舎敷地面積が16,423.50㎡、運動場面積が1,310.0㎡となっている。

2 校舎等施設の整備計画

共創デザイン学科を設置する杉並キャンパスでは、現在7棟の校舎を有しており、その面積は24,274.16㎡である。

共創デザイン学科の設置に伴う校舎等施設の整備計画については、現在、主に第1年次生と第2年次生が利用する建物（面積1,104.50㎡）を建設中で、令和4年11月末完成予定である。研究室は、教員組織として計画している専任教員6人に対して共同研究室を設け、教員毎にエリアを区切って利用する計画としている。教員が研究職務に専念できる環境を保持するとともに、オフィスアワーに適切に対応できるようにするなど、学生の教育上の観点からも適切な設備となるように配慮する。

杉並キャンパスで学部教育に必要な主要な教室等としては、講義室10室、演習

室32室、実験・実習室45室、情報処理室1室の他、教員研究室31室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、事務室、医務室、学生相談室、学生食堂などを整備している。

設備の整備計画については、現在、杉並キャンパスで整備している教具1,502点、校具866点を有効的に転共用するとともに、共創デザイン学科における学生数を踏まえた教育課程における授業科目や授業形態を実施するために必要となる新たな設備として、教具134点、校具330点を整備することとしている。【資料2】

3 図書等の資料及び図書館の整備計画

1) 図書等の資料の整備計画

共創デザイン学科の設置を計画している杉並キャンパスの図書館では、図書等の資料について、現在、図書171,136冊（うち外国書21,112冊）を所蔵しているとともに、学術雑誌211誌（うち外国雑誌58誌。電子ジャーナル1種（外国書）を含む。）、ビデオやDVDなどの視聴覚資料2,274点の整備がなされている。

一方、本学の相模原キャンパスの図書館では、図書等の資料について、現在、図書220,935冊（うち外国書48,993冊）を所蔵しているとともに、学術雑誌261誌（うち外国雑誌76誌。電子ジャーナル3種（いずれも外国書）を含む。）、ビデオやDVDなどの視聴覚資料3,978点及びオンラインデータベース2種の整備がなされていることから、これらを有効的に共用することとしている。

共創デザイン学科の設置計画に伴う図書等の資料の整備計画としては、共創デザイン学科の教育研究を行うために必要となる図書等の資料として、図書3,497冊（うち外国書842冊）、ビデオやDVDなどの視聴覚資料104点を新たに整備し、学術雑誌（電子ジャーナルを含む）及びオンラインデータベースについては、現在両図書館で整備されているものを継続して購入又は運用していくこととしている。【資料3】

2) 図書館の整備計画

共創デザイン学科の設置を計画している杉並キャンパスの図書館は、現在、本学の芸術学部及び共用する女子美術大学短期大学部造形学科の収容定員計1,020人の約10.78%に当たる110席の閲覧座席数を確保している。開架式書庫及び閉架式書庫、サービスカウンター、レファレンスカウンター、グループ学習室、視聴覚

コーナー、ブラウジングコーナーなどを整備しているとともに、図書館の機能としては、情報探索用パソコン14台、蔵書検索用パソコン3台、コピー機2台を設置しており、図書館システムは、株式会社リコー製の「LIMEDIO」を導入している。

この図書館システムにより、本学の相模原キャンパス図書館と常時専用線で接続されていることから、資料等を横断的に検索することが可能であり、また、国立情報学研究所の所蔵目録の検索や他の大学図書館等との文献複写や相互貸借等のサービスを可能としている。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料1	共創デザイン学科履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 2
資料2	設備等購入計画・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 5
資料3	図書等購入計画・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 6
資料4	教育課程等の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 7

共創デザイン学科 履修モデルB (UI(ユーザーインターフェース)／UX(ユーザーエクスペリエンス)デザイン重視)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名		
学部 共通科目	2	女子美基礎講座	2						4	
	2	女子美の教養環境論	2	アートと法入門 情報とアート						
	2	印刷概論	2	デザイン史A デザイン史B	2	図学A 図学B	2		10	
	2	情報メディア基礎演習	2	表現と癒しの営み	2	キャリア形成D	2			
	1	Joshihi Foundation English A	1	Joshihi Global English A	1				4	
	1	Joshihi Foundation English B	1	Joshihi Global English B	1					
	学科 専門科目	2	共創デザイン実技Ⅰ-A	2	共創デザイン実技Ⅱ-A	2	共創デザイン実技Ⅲ-A	2	共創デザイン実践Ⅳ	2
		2	共創デザイン実技Ⅰ-B	2	共創デザイン実技Ⅱ-B	2	共創デザイン実技Ⅲ-B	2	卒業研究	
		2	共創デザイン実技Ⅰ-C	2	共創デザイン実技Ⅱ-C	2	共創デザイン実践Ⅲ	2		70
		2	共創デザイン実技Ⅰ-D	2	共創デザイン実技Ⅱ-D	2	知財・ファイナンス概論	2		
2		共創デザイン実技Ⅰ-E	2	共創デザイン実技Ⅱ-E	2	ファシリテーション論	2			
2		共創デザイン実技Ⅰ-F	2	共創デザイン実技Ⅱ-F	2	ライフマネジメント論Ⅲ-A	2			
2		共創デザイン実技Ⅰ-G	2	共創デザイン実技Ⅱ-G	2	ライフマネジメント論Ⅲ-B	2			
2		共創デザイン実技Ⅰ-H	2	共創デザイン実技Ⅱ-H	2	行動デザイン論	2			
2		共創デザイン実技Ⅰ	2	コミュニケーション特論Ⅱ	2	ライフマネジメント論Ⅲ	2			
2		共創デザイン実技Ⅰ	2	ライフマネジメント論Ⅱ-A	2	ライフマネジメント論Ⅲ	2		94	
2	共創デザイン実技Ⅰ	2	ライフマネジメント論Ⅱ-B	2						
2	ビジネスデザイン概論	2		2						
2	コミュニケーション特論Ⅰ	2		2						
2	ライフマネジメント論Ⅰ-A	2		2						
選択必修	2	共創デザイン実技Ⅱ-A (グラフィックデザイン②)	2	共創デザイン実技Ⅱ-A (グラフィックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技Ⅲ-D (テックデザイン③)	2		10	
	2	共創デザイン実技Ⅱ-D (テックデザイン②)	2	共創デザイン実技Ⅱ-D (テックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技Ⅲ-Da (サービスデザイン)	2			
選択	2	プログラミング演習	2	ソーシャルメディアデザイン論 人間工学 共創デザイン演習Ⅱ-F	2	共創デザイン選択実技Ⅲ-Eb (クリエイティブインテグレーションB)	2	ライフマネジメント論Ⅳ-B	14	
	2		2	感性異分野共創論Ⅱ 産官学連携演習	2		2			
合計	40		42		30		12		124	

共創デザイン学科 履修モデルC (ビジネス・ブランドデザイン重視)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	
学部 共通科目	2	女子美基礎講座	2	社会福祉学	2	観光学			4
	2	女子美の教養	2	国際関係論	2				8
	2	経済学							
	2	現代美学	2	西洋美術史概説	2	音楽とアート			10
		美大生としての基礎力・創造力を養う	2	芸術学B	2				30
			2	造形心理学	2				
	2	地域共創学							2
	1	Joshihi Foundation English A	1	Joshihi Global English A	1	Joshihi Art English A			6
	1	Joshihi Foundation English B	1	Joshihi Global English B	1	Joshihi Art English B			
	学科 専門科目	2	共創デザイン実技 I-A	2	共創デザイン実技 II-A	2	共創デザイン実技 III-A	2	共創デザイン実技 IV
2		共創デザイン実技 I-B	2	共創デザイン実技 II-B	2	共創デザイン実技 III-B	2	卒業研究	8
2		共創デザイン実技 I-C	2	共創デザイン実技 II-C	2	共創デザイン実技 III-C	2		
2		共創デザイン実技 I-D	2	共創デザイン実技 II-D	2	共創デザイン実技 III-D	2		
2		共創デザイン実技 I-E	2	共創デザイン実技 II-E	2	共創デザイン実技 III-E	2		
2		共創デザイン実技 I-F	2	共創デザイン実技 II-F	2	共創デザイン実技 III-F	2		
2		共創デザイン実技 I-G	2	共創デザイン実技 II-G	2	共創デザイン実技 III-G	2		
2		共創デザイン実技 I-H	2	共創デザイン実技 II-H	2	共創デザイン実技 III-H	2		
2		共創デザイン実践 I	2	共創デザイン実践 II	2	共創デザイン実践 III	2		
2		共創デザイン概論	2	行動デザイン論	2	ライフマネジメント論 III-A	2		
2		ビジネスデザイン概論	2	コミュニケーション特論 II	2	ライフマネジメント論 III-B	2		
2		コミュニケーション特論 I	2	ライフマネジメント論 II-A	2	ライフマネジメント論 III-C	2		
2		ライフマネジメント論 I-A	2	ライフマネジメント論 II-B	2		2		70
			2		2				95
2		共創デザイン選択実技 II-A (グラフィックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技 II-A (グラフィックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技 III-C (ブランニング②)	2		
2	共創デザイン選択実技 II-D (テックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技 II-D (テックデザイン②)	2	共創デザイン選択実技 III-Aa (ビジネスデザインA)	2		10	
2		2		2	共創デザイン選択実技 III-Cb (ブランドデザインB)	2			
2		2		2	産学官連携実践	1	ライフマネジメント論 IV-A	2	
2		2		2	産学官連携演習	2		15	
2		2		2					
合計	42		42		29		12	125	

【資料2】

設備等購入計画

年次	品目	台数
開設前年度	色評価システム	6
	刺繍ミシン	1
	ゲームプリンター	1
	普通のミシン	4
	厚物用ミシン	1
	複合機	7
	スキャナー	1
	大型プリンター	1
	中型プリンター	1
	コミュニケーションツール	1
	3Dプリンター	10
	レーザーカッター	3
	3Dスキャナ	1
	工作機器	7
	小計	45
	第1年次	机・椅子（教室用：1年・2年）
机・椅子（工房用）		40
机・椅子		10
PC		48
撮影機材一式（工房内撮影ブース用）		1
オンラインシステム機器（1年・2年・サロン用）		3
スピーカーシステム機器（1年・2年・サロン用）		3
TV（60インチ有機EL：1年・2年教室用）		4
大型プロジェクター（天つりタイプ1年・2年用）		2
中型プロジェクター（ポータブル1年・サロン用）		4
空気清浄機（1年教室、工房、研究室、サロン用）		4
耐火金庫		1
小計		260
第2年次		中型プロジェクター（ポータブル2年用）
	空気清浄機（2年教室用）	1
	小計	3

年次	品目	台数
第3年次	机・椅子（教室用：3年用）	70
	オンラインシステム機器（3年用）	1
	スピーカーシステム機器（3年用）	1
	TV（60インチ：3年教室用）	2
	大型プロジェクター（天つりタイプ3年用）	1
	中型プロジェクター（ポータブル3年用）	2
	空気清浄機（3年教室用）	1
	小計	78
第4年次	机・椅子（教室用：4年）	70
	オンラインシステム機器（4年用）	1
	スピーカーシステム機器（4年用）	1
	TV（60インチ：4年教室用）	2
	大型プロジェクター（天つりタイプ4年用）	1
	中型プロジェクター（ポータブル4年用）	2
	空気清浄機（4年教室用）	1
	小計	78
合計	464	

【資料3】

図書等購入計画

年次	種類	大学全体の購入 (杉並キャンパス図書館と相模原キャンパス図書館の合計)		単位
			うち、共創デザイン学科の教育研究を行うために必要となる図書等の資料 (杉並キャンパス図書館)	
開設前年度	図書 [うち外国書]	3,214 [581]	807 [194]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	80	24	点
	オンラインデータベース	2	—	種
第1年次	図書 [うち外国書]	3,214 [581]	807 [194]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	80	24	点
	オンラインデータベース	2	—	種
第2年次	図書 [うち外国書]	3,214 [581]	807 [194]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	80	24	点
	オンラインデータベース	2	—	種
第3年次	図書 [うち外国書]	3,214 [581]	538 [130]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	80	16	点
	オンラインデータベース	2	—	種
第4年次	図書 [うち外国書]	3,214 [581]	538 [130]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	80	16	点
	オンラインデータベース	2	—	種
合計	図書 [うち外国書]	16,070 [2,905]	3,497 [842]	冊
	学術雑誌 [うち外国書]	472 [134]	— [—]	種
	電子ジャーナル [うち外国書]	4 [4]	— [—]	種
	視聴覚資料	400	104	点
	オンラインデータベース	2	—	種

(注)

学術雑誌（電子ジャーナルを含む）及びオンラインデータベースについては、現在両図書館で整備されているものを継続して購入又は運用する。

【資料4】

別記様式第2号(その2の1)

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教育課程等の概要															
(芸術学部共創デザイン学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	女子美基礎講座	1前	2			○								兼3	オムニバス
	女子美の教養	1前	2			○								兼6	オムニバス
	小計(2科目)	—	4			—								兼8	
学部共通科目	ジェンダーとアート研究	2・3・4前・後		2			○							兼1	
	歴史の中の女性	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	女性と法	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	ジェンダー論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	ジェンダーとアート概論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	情報とアート	2・3・4前・後		2			○							兼1	
	人権・ダイバーシティとアート	2・3・4前・後		2			○							兼1	
	哲学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	歴史学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	文学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	文化人類学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	思想史	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	比較文化論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	異文化理解	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	言語学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	伝統文化論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	法学(日本国憲法)	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	社会福祉学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	国際関係論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	経済学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	観光学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	教育原論	1前・後		2										兼1	
	アートと法入門	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	芸術文化政策論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	日本語A	1前		1			○							兼1	
	日本語B	1後		1			○							兼1	
	環境とアート	2・3・4前・後		2			○							兼2	オムニバス
	身体とアート	2・3・4前・後		2			○							兼1	
	数理科学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	生命科学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	心理学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	教育心理学	2前・後		2		○								兼1	
	青年心理学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	環境論	1・2・3前・後		2		○								兼2	
	スポーツ演習A	1・2・3前		1			○							兼1	
	スポーツ演習B	1・2・3後		1			○							兼1	
	健康科学A	1・2・3前		1			○							兼1	
	健康科学B	1・2・3後		1			○							兼1	
	精神保健	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	行動心理学	1・2・3前・後		2		○								兼1	
	身体機能論	1・2・3前・後		2		○								兼1	
小計(42科目)	—		78			—								兼31	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
美大生としての基礎力・創造力を養う	音楽とアート	2・3・4前・後		2			○								兼1	集中
	古美術研究	3前・後		2			○								兼1	
	西洋美術史概説	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	西洋美術史特論A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	西洋美術史特論B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	西洋美術史特論C	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	日本美術史概説	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	日本美術史特論A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	日本美術史特論B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	日本美術史特論C	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	東洋美術史概説	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	東洋美術史特論A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	東洋美術史特論B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	美学	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	現代美学	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	芸術学A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	芸術学B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	芸術学C	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	現代美術論	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	デザイン史A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	デザイン史B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	印刷概論	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	美術解剖学A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	美術解剖学B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	図学A	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	図学B	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	書道A	1・2・3前		1				○							兼1	
	書道B	1・2・3後		1				○							兼1	
	文化遺産学	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	写真史	1・2・3前・後		2			○								兼1	
	色彩学A	1・2・3前		2			○								兼1	
	色彩学B	1・2・3後		2			○								兼1	
	造形心理学	1・2・3前・後		2			○								兼1	
小計 (33科目)	—		64				—							兼26		
学部共通科目	プロジェクト・スタディーズ	2・3・4通		2			○								兼3	集中
	アーティスト・イン・レジデンス	2・3・4通		2			○								兼1	集中
	国際芸術プログラム	2・3・4休		2			○								兼1	集中
	地域共創学	1・2・3前・後		2			○								兼2	集中
	アーティスト・イン・レジデンス概論	1・2・3前・後		2			○								兼3	オムニバス
	カラーコーディネート基礎	1・2・3前・後		2			○								兼1	集中
	表現と癒しの営み	1・2・3前・後		2			○								兼1	集中
	子ども発達論	1・2・3前・後		2			○								兼1	集中
	インテリアデザイン史	1・2・3前・後		2			○								兼1	集中
	インターシップ 1	3・4前・後		1					○						兼1	集中
	インターシップ 2	3・4前・後		2					○						兼1	集中
	インターシップ 3	3・4前・後		3					○						兼1	集中
	インターシップ 4	3・4前・後		4					○						兼1	集中
	博物館概論	1前・後		2			○								兼2	集中
	キャリア形成A	1・2・3前・後		2			○								兼3	オムニバス
	キャリア形成B	1・2・3前・後		2			○								兼3	オムニバス
キャリア形成C	2・3・4前・後		2			○								兼3	オムニバス	
キャリア形成D	2・3・4前・後		2			○								兼3	オムニバス	
情報メディア基礎演習	1・2・3前・後		2				○							兼1	集中	
小計 (19科目)	—		40				—							兼16		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	Joshibi Foundation English A	1前		1			○								兼4	
	Joshibi Foundation English B	1後		1			○								兼4	
	Joshibi Art English A	2・3・4前		1			○								兼1	
	Joshibi Art English B	2・3・4後		1			○								兼1	
	English in Film and the Performing Arts A	2・3・4前		1			○								兼1	
	English in Film and the Performing Arts B	2・3・4後		1			○								兼1	
	Joshibi Global English A	1・2・3前		1			○								兼1	
	Joshibi Global English B	1・2・3後		1			○								兼1	
	English Conversation A	1・2・3前		1			○								兼1	
	English Conversation B	1・2・3後		1			○								兼1	
	フランス語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	フランス語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	イタリア語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	イタリア語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	中国語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	中国語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	フランス語ⅡA	2・3・4前		1			○								兼1	
	フランス語ⅡB	2・3・4後		1			○								兼1	
	イタリア語ⅡA	2・3・4前		1			○								兼1	
	イタリア語ⅡB	2・3・4後		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅡA	2・3・4前		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅡB	2・3・4後		1			○								兼1	
	中国語ⅡA	2・3・4前		1			○								兼1	
	中国語ⅡB	2・3・4後		1			○								兼1	
小計 (26科目)		—		26			—								兼10	
学科専門科目	共創デザイン演習Ⅰ-A	1前	2				○								兼1	
	共創デザイン演習Ⅰ-B	1前	2				○								兼3	
	共創デザイン演習Ⅰ-C	1前	2				○		1						兼4	
	共創デザイン演習Ⅰ-D	1前	2				○								兼1	
	共創デザイン演習Ⅰ-E	1後	2				○		1						兼3	
	共創デザイン演習Ⅰ-F	1後	2				○			1					兼2	
	共創デザイン演習Ⅰ-G	1後	2				○				1				兼1	
	共創デザイン演習Ⅰ-H	1後	2				○								兼2	
	共創デザイン実践Ⅰ	1通	2					○	3	3					兼2	
	共創デザイン概論	1前	2				○		3	3					兼6	オムニバス
	ライフマネジメント論Ⅰ	1前	2				○								兼1	
	ビジネスデザイン概論	1後	2				○		1						兼2	
	コミュニケーション特論Ⅰ	1後	2				○								兼2	
	デザイン基礎集中演習	1休		2				○							兼1	集中
	ドローイング演習	1前		2				○							兼2	
	プログラミング演習	1前		2				○			1					
	インクルーシブデザイン論	1後		2				○							兼2	
	自立的キャリア教育	1・2・3通		2				○							兼1	
	産官学連携演習	1・2・3通		2				○	3	3					兼4	
	産官学連携実践	1・2・3休		1					2							集中
	共創デザイン演習Ⅱ-A	2前	2					○							兼1	
	共創デザイン演習Ⅱ-B	2前	2					○							兼3	
	共創デザイン演習Ⅱ-C	2前	2					○	1						兼1	
	共創デザイン演習Ⅱ-D	2前	2					○							兼1	
	共創デザイン演習Ⅱ-E	2後	2					○							兼2	
	共創デザイン実践Ⅱ	2通	2						3	3					兼2	
行動デザイン論	2前	2					○							兼2		
コミュニケーション特論Ⅱ	2前	2					○							兼1		
ライフマネジメント論Ⅱ-A	2後	2					○	1	1					兼1		
ライフマネジメント論Ⅱ-B	2後	2					○	2								
共創デザイン選択演習Ⅱ-A	2後		2					1						兼4		
共創デザイン選択演習Ⅱ-B	2後		2					1						兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科専門科目	共創デザイン選択演習Ⅱ-C	2後		2			○			1					兼1	集中
	共創デザイン選択演習Ⅱ-D	2後		2			○			1					兼1	
	共創デザイン演習Ⅱ-F	2休		2			○			1	1					
	人間工学（スペース&プロダクト）	2前		2			○			1						兼1
	コミュニケーション特論Ⅲ	2前		2			○				1					兼1
	感性異分野共創論Ⅰ	2前		2			○									兼7
	ソーシャルグッドネスデザイン論	2後		2			○									兼1
	留学認定科目A	2・3通		2			○			1						
	留学認定科目B	2・3通		4			○			1						
	留学認定科目C	2・3通		6			○			1						
	留学認定科目D	2・3通		8			○			1						
	留学認定科目E	2・3通		10			○			1						
	共創デザイン演習Ⅲ-A	3前	2					○		1						
	共創デザイン演習Ⅲ-B	3前	2					○		1						兼2
	共創デザイン実践Ⅲ	3通	2						○	3	3					兼2
	知財・ファイナンシャル概論	3前	2				○									兼2
	ライフマネジメント論Ⅲ-A	3前	2				○			2						
	ライフマネジメント論Ⅲ-B	3後	2				○									兼1
	ファシリテーション論	3後	2				○									兼1
	共創デザイン選択演習Ⅲ-A	3前		2				○		1						兼1
	共創デザイン選択演習Ⅲ-B	3前		2				○		1	2					兼1
	共創デザイン選択演習Ⅲ-C	3前		2				○								兼3
	共創デザイン選択演習Ⅲ-D	3前		2				○			1					
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa	3後		2				○		1						兼2
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ba	3後		2				○								兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ca	3後		2				○		1						
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Da	3後		2				○								兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea	3後		2				○		2	2					兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab	3後		2				○		1						兼2
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Bb	3後		2				○								兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Cb	3後		2				○								兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Db	3後		2				○								兼1
	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb	3後		2				○		2	2					兼1
感性異分野共創論Ⅱ	3前		2			○									兼7	
共創デザイン実践Ⅳ	4前	2						○	3	3					兼1	
卒業研究	4通	8						○	3	3						
ライフマネジメント論Ⅳ-A	4前		2			○			3	3						
ライフマネジメント論Ⅳ-B	4後		2			○			3	3						
小計（70科目）	—		70	95			—		3	3					兼77	
合計（192科目）	—		74	303	0		—		3	3					兼150	
学位又は称号	学士（芸術）		学位又は学科の分野				美術関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
学部共通科目から必修科目を含め30単位以上、学科専門科目から必修科目を含め94単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：1年次42単位、2～4年次49単位（年間））						1 学年の学期区分			2学期							
						1 学期の授業期間			15週							
						1 時限の授業時間			90分							

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 2
① 学生の確保の見通し	p. 2
ア 定員充足の見込み	p. 2
1 入学定員設定の考え方	p. 2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p. 2
1 基礎となる学科の志願者数等の状況	p. 2
2 進学実績のある高等学校等に対する進学需要調査結果	p. 2
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	p. 3
(2) 人材需要の動向等社会の要請	p. 4
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 4
1 人材の養成に関する目的	p. 4
2 教育研究上の目的	p. 4
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること の客観的な根拠	p. 5
1 共創デザイン学科を設置する芸術学部の求人件数等の状況	p. 5
2 採用実績のある企業等に対する人材需要調査結果	p. 5

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1 入学定員設定の考え方

入学定員設定の考え方は、設置を計画している共創デザイン学科の基礎となるデザイン・工芸学科における最近の志願者状況等を踏まえるとともに、本学への進学実績を有する高等学校を中心とする共創デザイン学科設置の初年度に受験対象となる高等学校2年生の女子に対する「進学需要に関するアンケート調査」（以下「進学需要調査」という。）及び企業等に対する「人材需要に関するアンケート調査」（以下「人材需要調査」という。）の結果などを総合的に勘案したうえで、入学定員を60人としている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1 基礎となる学科の志願者数等の状況【資料1】

共創デザイン学科の基礎となるデザイン・工芸学科の最近4年間の志願者数は、入学定員220人に対して、平成30年度735人、平成31年度780人、令和2年度787人、令和3年度605人と安定した志願者数の確保を維持しており、最近4年間の平均志願者数は727人、入学定員に対する志願者数の平均倍率は約3.30倍、実質的な競争倍率である合格者数に対する受験者数の平均倍率は約1.38倍となっている。

共創デザイン学科の設置計画においては、既設のデザイン・工芸学科における最近の志願者状況等を踏まえたうえで、デザイン・工芸学科の中で展開してきたデザインに関する教育内容を基礎として、学部教育の多様な展開を図り、特色ある教育の実現に向けた充実した教育内容として設置することから、十分な志願者数を見込むことができるものと考えている。

2 進学実績のある高等学校等に対する進学需要調査結果【資料2】【資料4】【資料6】

今般の共創デザイン学科の設置計画は、基礎となるデザイン・工芸学科の最近の志願者状況等を踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込め

ものであるが、設置計画を策定するに当たり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、本学への進学実績を有する高等学校を中心とする共創デザイン学科設置の初年度に受験対象者となる高等学校2年生の女子に対する進学需要調査を実施した。

進学需要調査の結果、共創デザイン学科への興味・関心については、回答者数2,013人の約54.74%に当たる1,102人が「興味・関心がある」と回答しており、共創デザイン学科の受験希望については、回答者数2,013人の約9.54%に当たる192人が「受験を希望する」と回答していることから、共創デザイン学科への興味・関心及び受験意向の高さをうかがうことができる。

また、共創デザイン学科への進学意向については、共創デザイン学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、共創デザイン学科に合格した場合、「進学を希望する」と回答した者は、回答者数192人の約45.83%に当たる88人、「併願大学の結果によって入学する」と回答した者は、回答者数192人の約51.56%に当たる99人となっており、共創デザイン学科への進学意向の高さをうかがうことができる。

このように、本学への進学実績を有する高等学校を中心とする一部の高等学校の2年生の女子に限定した調査結果においても、共創デザイン学科への進学意向の高さがうかがえることから、共創デザイン学科を設置した場合においても、十分な志願者数及び入学者数の確保を見込むことができるものと考えられる。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や学生募集用パンフレットの配布をはじめ、高等学校生徒向けの一般広報 WEB 媒体を中心とした広報活動の他、ホームページやSNS等の電子媒体など多数のメディアを使用したPR活動を行うとともに、特に入学実績のある美術系高等学校や女子高等学校などに対しては、高等学校訪問等を通し、共創デザイン学科についての詳細や情報提供を丁寧に行うこととしている。

また、オープンキャンパスや体験型ワークショップイベントをはじめ、各地域における会場型学外進学相談会や高等学校内での出張授業等の開催を通じて、共創デザイン学科における学位授与方針・教育課程の編成・実施方針・学生の受け入れ方針をはじめとする様々な教育情報について、高等学校生徒や保護者、高等学校教諭、予備校教員に対して広く周知を図ることとしている。

加えて、共創デザイン学科の教育内容をはじめとする教育情報の詳細かつ丁寧な情報提供を目指すことから、特に、受験生に対して養成する人材及び習得する知識や能力に応じた履修モデルなどを提示することにより、卒業後の進路や自己の学習目標に沿った科目履修の可視化を可能とすることで、共創デザイン学科の教育内容に対する理解を促すこととしている。

そのうえで、募集活動については、これまで芸術学部において重点的に行ってきた、高等学校訪問による高等学校教員とのパイプ醸成や高等学校内ガイダンスや出張授業による受験生との対面広報等を中心とする、「人」と「人」との直接広報を更に強化していく。

また、従来の美術・デザイン系を志望する美大受験生層のみならず、経営やビジネス等に興味を持っている一般総合大学受験生層への広報展開にも取り組み、新たな受験生層からの入学者の確保も目指すこととする。

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

1 人材の養成に関する目的

共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインする能力を身に付け、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能力を備えた人材を養成することとしている。

具体的には、共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインする創出力、デザインの理論や手法を活用した発想や構想と課題の解決に向けてデザイン手法を運用する主体性・開拓力、デザインやデザイン手法に関する知識と能力を統合し、他者と共に商品やサービスの価値の創造に取り組むことができる実装力と柔軟性を身に付けることとしている。

2 教育研究上の目的

共創デザイン学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「美術分野」として、デザインを創造するための基礎的・基本的な知識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、デザインの諸活動を主体的・合理的かつ共創的に行い、デザインによる地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを教育研究上の目的としている。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1 共創デザイン学科を設置する芸術学部の人材需要等の状況【資料3】

共創デザイン学科を設置する芸術学部における最近4年間の求人件数は、平成29年度は就職希望者351人に対して、求人件数1,209件で求人倍率は約3.44倍、平成30年度は就職希望者362人に対して、求人件数1,030件で求人倍率は約2.85倍、令和元年度は就職希望者348人に対して、求人件数866件で求人倍率は約2.49倍、令和2年度は就職希望者343人に対して、求人件数666件で求人倍率は約1.94倍となっており、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、多数の求人件数を得ている。なお、令和2年度の求人件数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会経済活動への影響を反映して下落したと考えられる。

また、共創デザイン学科を設置する芸術学部における最近4年間の就職実績は、平成29年度は就職希望者351人に対して就職者数313人で就職率は約89.17%、平成30年度は就職希望者362人に対して就職者数327人で就職率は約90.33%、令和元年度は就職希望者348人に対して就職者数319人で就職率は約91.67%、令和2年度は就職希望者343人に対して就職者数241人で就職率は約70.26%となっており、高い就職率で推移している。なお、令和2年度の就職率については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会経済活動への影響を反映して下落したと考えられる。

以上のことは、共創デザイン学科を設置する芸術学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものであり、今般の共創デザイン学科の設置計画においては、社会環境の変化や地域社会の要請を踏まえるとともに、芸術学部のデザイン分野における卒業生の進路や卒業生を受け入れる側の需要を十分に勘案したうえで、デザインによる地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを目的とした教育組織として設置することから、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであると考える。

2 採用実績のある企業等に対する人材需要調査結果【資料2】【資料5】【資料6】

今般の共創デザイン学科の設置計画を策定するうえで、共創デザイン学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏ま

えたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業やデザイン関連部門等を有する企業等を対象として、共創デザイン学科の卒業生に対する人材需要調査を実施した。

その結果、人材の採用見込みについては、有効回答数76件の約68.42%に当たる52件が「増加すると思う」と回答していることから、本学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業やデザイン関連部門等を有する企業等においては、一定程度の人材需要を見込むことができるものと考えられる。

また、共創デザイン学科の社会的な必要性については、有効回答数76件の約97.37%に当たる74件が「必要性を感じる」と回答しており、共創デザイン学科で養成する人材については、有効回答数76件の約98.68%に当たる75件が「必要性を感じる」と回答していることから、共創デザイン学科の社会的な必要性及び共創デザイン学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

また、共創デザイン学科で学んだ卒業生に対する採用意向については、有効回答数76件の約85.53%に当たる65件が「採用したいと思う」と回答していると同時に、共創デザイン学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業等の採用人数については、「1人」と回答した企業等が10件、「3人以上」と回答した企業等が4件、「人数は未定」と回答した企業等が50件となっている。

なお、「3人以上」と回答した企業等の採用人数を3人とし、「人数は未定」と回答した企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると72人となり、この採用人数からも、共創デザイン学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる結果となっている。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部のデザイン関連企業やデザイン関連部門等を有する企業等に限定した調査結果においても、共創デザイン学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえる結果となっていることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料（その1）目次

資料1	女子美術大学芸術学部における過去4年間の志願者数等の 状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 2
資料2	女子美術大学共創デザイン学科（仮称）進学需要等に関する アンケート調査結果報告書（抜粋版）・・・・・・・・	p. 3
資料3	女子美術大学芸術学部における過去4年間の就職率等の状 況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 19
資料4	進学需要調査における調査票様式・・・・・・・・	p. 20
資料5	人材需要調査における調査票様式・・・・・・・・	p. 21
資料6	進学需要調査及び人材需要調査において回答者に示した設 置計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 22

【資料1】

女子美術大学芸術学部における過去4年間の志願者数等の状況

		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	4年間平均
美術学科	入学定員	190	190	190	190	190
	志願者数	366	580	697	484	532
	受験者数	352	560	665	461	510
	合格者数	336	396	453	392	394
	入学者数	187	215	217	221	210
	入学定員超過率	0.98	1.13	1.14	1.16	1.10
	志願者数に対する合格者数の倍率	1.04	1.41	1.46	1.17	1.27
デザイン・工芸学科	入学定員	220	220	220	220	220
	志願者数	735	780	787	605	727
	受験者数	711	741	758	572	696
	合格者数	508	520	512	451	498
	入学者数	253	243	239	238	243
	入学定員超過率	1.15	1.10	1.08	1.08	1.10
	志願者数に対する合格者数の倍率	1.39	1.42	1.48	1.26	1.38
アート・デザイン表現学科	入学定員	160	160	160	160	160
	志願者数	475	451	556	482	491
	受験者数	464	440	512	463	470
	合格者数	281	241	235	219	244
	入学者数	206	192	184	185	192
	入学定員超過率	1.28	1.20	1.15	1.15	1.19
	志願者数に対する合格者数の倍率	1.65	1.82	2.17	2.11	1.93
合計	入学定員	570	570	570	570	570
	志願者数	1,576	1,811	2,040	1,571	1,750
	受験者数	1,527	1,741	1,935	1,496	1,675
	合格者数	1,125	1,157	1,200	1,062	1,136
	入学者数	646	650	640	644	645
	入学定員超過率	1.13	1.14	1.12	1.12	1.12
	志願者数に対する合格者数の倍率	1.35	1.50	1.61	1.40	1.46

**女子美術大学共創デザイン学科 (仮称)
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書 (抜粋版)**

令和4年2月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項	
共創デザイン学科への興味・関心	4
共創デザイン学科の受験希望	5
共創デザイン学科への進学希望	6

II. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み	8
女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項	
共創デザイン学科の社会的な必要性	9
共創デザイン学科で養成する人材の必要性	10
共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用	11
共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数	12

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

【調査対象等】

女子美術大学では、令和5年4月の開設に向けて、共創デザイン学科（仮称）の設置を計画しており、この共創デザイン学科（仮称）の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和3年11月～令和4年1月

④調査件数

回収件数： 96校

回収者数：2,013人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数2,013人の約93.24%にあたる1,877人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数2,013人の約67.46%にあたる1,358人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	1,358	67.46
2	短期大学進学	125	6.21
3	専門学校進学	394	19.57
4	就職	103	5.12
5	その他	28	1.39
	未回答・不明	5	0.25
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「美術学・デザイン学関係」と回答した者が回答者数2,013人の約64.68%にあたる1,302人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約4.47%にあたる90人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約4.37%にあたる88人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数／人	全体／%	件数／人	全体／%
1	経済学・経営学関係	68	3.38	120	5.96
2	教育学・保育学関係	88	4.37	263	13.07
3	法学・政治学関係	21	1.04	42	2.09
4	社会学・福祉学関係	37	1.84	97	4.82
5	文学・史学・哲学関係	90	4.47	345	17.14
6	工学・理学関係	38	1.89	107	5.32
7	医学・歯学・薬学関係	44	2.19	43	2.14
8	美術学・デザイン学関係	1,302	64.68	301	14.95
9	家政学・生活科学関係	35	1.74	108	5.37
10	音楽学関係	12	0.60	183	9.09
11	体育学・スポーツ学関係	9	0.45	42	2.09
12	医療技術学関係	15	0.75	37	1.84
13	看護学関係	44	2.19	17	0.84
14	その他	186	9.24	112	5.56
	未回答・不明	24	1.19	196	9.74
	合計	2,013	100.00	2,013	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

3. 共創デザイン学科への興味・関心

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、共創デザイン学科への興味・関心について質問したところ、回答者数2,013人の約54.74%にあたる1,102人が「興味・関心がある」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 共創デザイン学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	興味・関心がある	1,102	54.74
2	興味・関心がない	906	45.01
	未回答・不明	5	0.25
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

＜女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項＞

4. 共創デザイン学科の受験希望

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、共創デザイン学科の受験希望について質問したところ、回答者数2,013人の約9.54%にあたる192人が「受験を希望する」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科への受験に積極的な意向を示している。

問4 共創デザイン学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	受験を希望する	192	9.54
2	受験を希望しない	1,767	87.78
	未回答・不明	54	2.68
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

5. 共創デザイン学科への進学希望

問4で、共創デザイン学科の「受験を希望する」と回答した者に、共創デザイン学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数192人の約45.83%にあたる88人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数192人の約51.56%にあたる99人が「併願大学の結果によって入学する」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科への進学に積極的な意向を示している。

このような女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に限定した調査結果においても、女子美術大学の共創デザイン学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 共創デザイン学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する(※)	88	45.83
2	併願大学の結果によって入学する(※)	99	51.56
3	進学を希望しない	4	2.08
	未回答・不明	1	0.52
	合計	192	100.00

(※) 問4「受験を希望する」×問5「進学を希望する」

(※) 問4「受験を希望する」×問5「併願大学の結果によって入学する」

Ⅱ. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

Ⅱ. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

【調査対象等】

女子美術大学では、令和5年4月の開設に向けて、共創デザイン学科（仮称）の設置を計画しており、この共創デザイン学科（仮称）の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業及びデザイン関連部門を有する企業等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等

②調査方法

デザイン関連企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

令和3年11月～令和4年1月

④調査件数

回答件数：76件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 人材の採用見込み

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 76 件の約 68.42%にあたる 52 件が「増加すると思う」と回答している。

問 1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	増加すると思う	52	68.42
2	増加すると思わない	24	31.58
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

2. 共創デザイン学科の社会的な必要性

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科の社会的な必要性について質問したところ、回答件数 76 件の約 97.37%にあたる 74 件が「必要性を感じる」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科の社会的な必要性の高さをうかがうことができる。

問2 共創デザイン学科の社会的な必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	74	97.37
2	必要性を感じない	2	2.63
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

3. 共創デザイン学科で養成する人材の必要性

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 76 件の約 98.68% にあたる 75 件が「必要性を感じる」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 共創デザイン学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	75	98.68
2	必要性を感じない	1	1.32
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

4. 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 76 件の約 85.53% にあたる 65 件が「採用したいと思う」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問4 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	採用したいと思う	65	85.53
2	採用したいと思わない	11	14.47
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

5. 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、問4で、共創デザイン学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答したデザイン関連企業等のうち、採用人数「1人」と回答したのが10件、「3人以上」と回答したのが4件、「人数は未定」と回答したのが50件となっている。

なお、採用人数を「3人以上」と回答したデザイン関連企業等の採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答したデザイン関連企業等の採用人数を「1人」として、これらの採用人数を合計すると「72人」となり、これらの採用人数からも女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業及びデザイン関連部門を有する一部の企業等に限定した調査結果においても、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	10	15.38
2	2人	0	0.00
3	3人以上	4	6.15
4	人数は未定	50	76.92
	未回答・不明	1	1.54
	合計	65	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1*1	採用したいと思う/1人	10	10
1*2	採用したいと思う/2人	0	0
1*3	採用したいと思う/3人以上	4	12
1*4	採用したいと思う/人数は未定	50	50
	合計	64	72

【資料3】

女子美術大学芸術学部における過去4年間の就職率等の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
卒業者数	567	554	527	561
求人票件数	1,209	1,030	866	666
求職者数	351	362	348	343
就職者数 ¹⁾	313	327	319	241
就職率 ²⁾	89.17%	90.33%	91.67%	70.26%
就職未決定者数 ³⁾	38	35	29	102
進学者数	48	30	34	40
制作活動・アルバイト従事者数	113	120	30	56
進路先不明者数 ⁴⁾	55	42	115	122

1)求職者のうち、就職決定の報告があった者

2)求職者のうち、就職者の割合(「就職者」÷「求職者」)

3)求職者のうち、就職活動中の者

4)進路の報告がない者

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称)
設置構想に関するアンケート調査(高校2年生女子対象)

女子美術大学では、「共創デザイン学科(仮称)」の新設を検討しております。

このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高校卒業後の進路等についてお聞きし、「共創デザイン学科(仮称)」の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。

回答は、別紙『女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要』をご覧ください。えで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|-----------------|----------|---|
| 1 大学進学(4年制・6年制) | 2 短期大学進学 | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 | |
| 5 その他(具体的に) | | |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | | |
|----------------|---------------|------|---|
| 1 経済学・経営学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | | |
| 5 文学・史学・哲学関係 | 6 工学・理学関係 | 第2希望 | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 美術学・デザイン学関係 | | |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 音楽学関係 | | |
| 11 体育学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | | |
| 13 看護学関係 | 14 その他(具体的に) | | |

問3 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|------------|------------|---|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
|------------|------------|---|

問4 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|--|--|---|
| 1 受験を希望する(学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む) | | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
| 2 受験を希望しない | | |

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」に合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|------------|-------------------|---|
| 1 進学を希望する | 2 併願大学の結果によって入学する | <input style="width: 40px; height: 40px;" type="text"/> |
| 3 進学を希望しない | | |

これで、アンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

【資料5】

**女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称)
設置構想に関するアンケート調査(企業対象)**

女子美術大学では、「共創デザイン学科(仮称)」の新設を検討しております。

このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、「共創デザイン学科(仮称)」の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。

回答は、別紙『女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要』をご覧ください。えで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 今後の貴社・貴機関における人材の採用見込について、お尋ねいたします。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 増加すると思う 2 増加すると思わない

問2 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」の社会的な必要性について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問3 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問4 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う 2 採用したいと思わない

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で学んだ卒業生の採用人数について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人 2 2人
3 3人以上 4 人数は未定

これで、アンケート調査は終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要

□計画概要 ※学科名称、学生定員、開設時期、設置場所等については予定

- * 設置組織：共創デザイン学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員60名／収容定員240名
- * 開設時期：令和5年4月
- * 設置場所：東京都杉並区和田1-49-8
- * アクセス：東京メトロ丸の内線 東高円寺駅下車 徒歩8分



□教育研究上の目的

- * 共創デザイン学科では、デザインを創造するための基礎的・基本的な知識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、デザインの諸活動を主体的・合理的かつ共創的に行い、デザインによる地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを教育研究上の目的としています。

□養成する人材

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する能力を身に付け、デザインの理論や手法を活用し、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能力を備えた人材を養成します。

□修得する知識・能力等

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する創出力、デザインの理論や手法を活用した発想や構想と課題の解決にむけてデザイン手法を運用する主体性・開拓力、デザインやデザイン手法に関する知識と能力を統合し、他者と共に商品やサービスの価値の創造に取り組むことができる実装力と柔軟性を身に付けます。

□想定される卒業後の進路

- * 卒業後の進路としては、デザイン会社をはじめとする関連企業等に所属し、地域におけるデザイン活動の促進やデザインを活用した地域振興、産業界における産業振興にむけたデザインの活用促進などの活動を通じて、地域の活性化や産業界の振興に貢献することが期待されます。
- * 例えば、製造元や顧客との意思の疎通や連携を図りながら、商品の特色や魅力を包装や容器で表現することで、商品の価値の創造に寄与することなどが想定されます。

□学費 ※近隣の私立大学類似学科の学費との比較

- * 女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科 1,886,000円（入学金220,000円 授業料等1,666,000円）
- * 武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 1,898,900円（入学金300,000円 授業料等1,598,900円）
- * 多摩美術大学 美術学部 統合デザイン学科 1,945,000円（入学金270,000円 授業料等1,675,000円）

※ 他大学の学費は2021年10月時点の各大学ホームページ掲載情報です。

※ その他、各大学とも諸会費別途必要となる場合があります。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料（その2）目次

参照資料 女子美術大学共創デザイン学科（仮称）進学需要等に関するアンケート調査結果報告書・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 24

**女子美術大学共創デザイン学科（仮称）
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書**

令和4年2月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項	
共創デザイン学科への興味・関心	4
共創デザイン学科の受験希望	5
共創デザイン学科への進学希望	6

II. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み	8
女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項	
共創デザイン学科の社会的な必要性	9
共創デザイン学科で養成する人材の必要性	10
共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用	11
共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数	12

III. 参考資料

進学需要に関するアンケート調査関係	
進学需要に関するアンケート調査 依頼高等学校一覧	
アンケート調査票（高校生）	
共創デザイン学科 設置計画の概要	
人材需要に関するアンケート調査関係	
人材需要に関するアンケート調査 依頼企業等一覧	
アンケート調査票（企業等）	
共創デザイン学科 設置計画の概要	

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

I. 進学需要に関するアンケート調査（集計結果）

【調査対象等】

女子美術大学では、令和5年4月の開設に向けて、共創デザイン学科（仮称）の設置を計画しており、この共創デザイン学科（仮称）の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和3年11月～令和4年1月

④調査件数

回収件数： 96校

回収者数：2,013人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数2,013人の約93.24%にあたる1,877人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数2,013人の約67.46%にあたる1,358人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	1,358	67.46
2	短期大学進学	125	6.21
3	専門学校進学	394	19.57
4	就職	103	5.12
5	その他	28	1.39
	未回答・不明	5	0.25
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「美術学・デザイン学関係」と回答した者が回答者数2,013人の約64.68%にあたる1,302人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約4.47%にあたる90人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約4.37%にあたる88人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数／人	全体／%	件数／人	全体／%
1	経済学・経営学関係	68	3.38	120	5.96
2	教育学・保育学関係	88	4.37	263	13.07
3	法学・政治学関係	21	1.04	42	2.09
4	社会学・福祉学関係	37	1.84	97	4.82
5	文学・史学・哲学関係	90	4.47	345	17.14
6	工学・理学関係	38	1.89	107	5.32
7	医学・歯学・薬学関係	44	2.19	43	2.14
8	美術学・デザイン学関係	1,302	64.68	301	14.95
9	家政学・生活科学関係	35	1.74	108	5.37
10	音楽学関係	12	0.60	183	9.09
11	体育学・スポーツ学関係	9	0.45	42	2.09
12	医療技術学関係	15	0.75	37	1.84
13	看護学関係	44	2.19	17	0.84
14	その他	186	9.24	112	5.56
	未回答・不明	24	1.19	196	9.74
	合計	2,013	100.00	2,013	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

3. 共創デザイン学科への興味・関心

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、共創デザイン学科への興味・関心について質問したところ、回答者数2,013人の約54.74%にあたる1,102人が「興味・関心がある」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 共創デザイン学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	興味・関心がある	1,102	54.74
2	興味・関心がない	906	45.01
	未回答・不明	5	0.25
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

4. 共創デザイン学科の受験希望

女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に、共創デザイン学科の受験希望について質問したところ、回答者数2,013人の約9.54%にあたる192人が「受験を希望する」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科への受験に積極的な意向を示している。

問4 共創デザイン学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	受験を希望する	192	9.54
2	受験を希望しない	1,767	87.78
	未回答・不明	54	2.68
	合計	2,013	100.00

【調査結果概要】

＜女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項＞

5. 共創デザイン学科への進学希望

問4で、共創デザイン学科の「受験を希望する」と回答した者に、共創デザイン学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 192 人の約 45.83%にあたる 88 人が「進学を希望する」と回答しており、回答者数 192 人の約 51.56%にあたる 99 人が「併願大学の結果によって入学する」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科への進学に積極的な意向を示している。

このような女子美術大学への受験実績や進学実績を有する高等学校を中心とする2年生の女子に限定した調査結果においても、女子美術大学の共創デザイン学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 共創デザイン学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	進学を希望する（※）	88	45.83
2	併願大学の結果によって入学する（※）	99	51.56
3	進学を希望しない	4	2.08
	未回答・不明	1	0.52
	合計	192	100.00

（※）問4「受験を希望する」×問5「進学を希望する」

（※）問4「受験を希望する」×問5「併願大学の結果によって入学する」

Ⅱ. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

Ⅱ. 人材需要に関するアンケート調査（集計結果）

【調査対象等】

女子美術大学では、令和5年4月の開設に向けて、共創デザイン学科（仮称）の設置を計画しており、この共創デザイン学科（仮称）の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業及びデザイン関連部門を有する企業等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等

②調査方法

デザイン関連企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

令和3年11月～令和4年1月

④調査件数

回答件数：76件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 人材の採用見込み

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 76 件の約 68.42%にあたる 52 件が「増加すると思う」と回答している。

問 1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	増加すると思う	52	68.42
2	増加すると思わない	24	31.58
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

＜女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項＞

2. 共創デザイン学科の社会的な必要性

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科の社会的な必要性について質問したところ、回答件数 76 件の約 97.37%にあたる 74 件が「必要性を感じる」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科の社会的な必要性の高さをうかがうことができる。

問2 共創デザイン学科の社会的な必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	74	97.37
2	必要性を感じない	2	2.63
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

3. 共創デザイン学科で養成する人材の必要性

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 76 件の約 98.68% にあたる 75 件が「必要性を感じる」と回答していることから、女子美術大学の共創デザイン学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 共創デザイン学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	75	98.68
2	必要性を感じない	1	1.32
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

＜女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項＞

4. 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 76 件の約 85.53% にあたる 65 件が「採用したいと思う」と回答しており、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問 4 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／件	全体／%
1	採用したいと思う	65	85.53
2	採用したいと思わない	11	14.47
	未回答・不明	0	0.00
	合計	76	100.00

【調査結果概要】

<女子美術大学の共創デザイン学科に関する質問事項>

5. 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数

女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業等に対して、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、問4で、共創デザイン学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答したデザイン関連企業等のうち、採用人数「1人」と回答したのが10件、「3人以上」と回答したのが4件、「人数は未定」と回答したのが50件となっている。

なお、採用人数を「3人以上」と回答したデザイン関連企業等の採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答したデザイン関連企業等の採用人数を「1人」として、これらの採用人数を合計すると「72人」となり、これらの採用人数からも女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような女子美術大学への求人実績や卒業生の採用実績があるデザイン関連企業及びデザイン関連部門を有する一部の企業等に限定した調査結果においても、女子美術大学の共創デザイン学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 共創デザイン学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	10	15.38
2	2人	0	0.00
3	3人以上	4	6.15
4	人数は未定	50	76.92
	未回答・不明	1	1.54
	合計	65	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1*1	採用したいと思う/1人	10	10
1*2	採用したいと思う/2人	0	0
1*3	採用したいと思う/3人以上	4	12
1*4	採用したいと思う/人数は未定	50	50
	合計	64	72

Ⅲ. 参 考 资 料

進学需要に関するアンケート調査関係

進学需要に関するアンケート調査 依頼高等学校一覧

No.	高校名	都道府県	所在地
1	黒石	青森県	黒石市西ヶ丘65
2	八戸工業大学第二	青森県	八戸市大字妙字大開67
3	涌谷	宮城県	遠田郡涌谷町涌谷字八方谷三1
4	宮城野	宮城県	仙台市宮城野区田子二丁目36-1
5	秋田南	秋田県	秋田市仁井田緑町4-1
6	横手	秋田県	横手市睦成字鶴谷地68
7	聖霊女子短期大学付属	秋田県	秋田市南通みその町4-82
8	山形西	山形県	山形市鉄砲町1-15-64
9	鶴岡南	山形県	鶴岡市若葉町26-31
10	鶴岡中央	山形県	鶴岡市大字大宝寺字日本国410
11	岩槻	埼玉県	さいたま市岩槻区城南1-3-38
12	越生	埼玉県	入間郡越生町西和田600
13	浦和学院	埼玉県	さいたま市緑区代山172
14	松戸	千葉県	松戸市中和倉590-1
15	市川東	千葉県	市川市北方町4丁目2191
16	船橋芝山	千葉県	船橋市芝山7丁目39-1
17	葛飾野	東京都	葛飾区亀有1丁目7-1
18	国分寺	東京都	国分寺市新町3丁目2-5
19	工芸	東京都	文京区本郷一丁目3-9
20	昭和	東京都	昭島市東町2丁目3-21
21	世田谷総合	東京都	世田谷区玉川1-20-1
22	深川	東京都	江東区東陽5丁目32-19
23	小平南	東京都	小平市上水本町6丁目21-1
24	田無	東京都	西東京市向台町5-4-34
25	晴海総合	東京都	中央区晴海1-2-1
26	大泉桜	東京都	練馬区大泉町3-5-7
27	八王子桑志	東京都	八王子市千人町4-8-1
28	神田女学園	東京都	千代田区猿楽町2-3-6
29	実践女子学園	東京都	渋谷区東一丁目1-11
30	文京学院大学女子	東京都	文京区本駒込6-18-3
31	星美学園	東京都	北区赤羽台4-2-14
32	品川エトワール女子	東京都	品川区南品川五丁目12-4
33	女子美術大学付属	東京都	杉並区和田1丁目49-8
34	神奈川工業	神奈川県	横浜市神奈川区平川町19-1
35	白山	神奈川県	横浜市緑区白山四丁目71-1
36	川崎総合科学	神奈川県	川崎市幸区小向仲野町5-1
37	上矢部	神奈川県	横浜市戸塚区上矢部町3230
38	神奈川総合	神奈川県	横浜市神奈川区平川町19-2
39	横浜桜陽	神奈川県	横浜市戸塚区汲沢町973
40	相模原総合	神奈川県	横浜市戸塚区汲沢町973
41	藤沢総合	神奈川県	藤沢市長後1909
42	金沢総合	神奈川県	横浜市金沢区富岡東6-34-1
43	横浜栄	神奈川県	横浜市栄区上郷町555
44	座間総合	神奈川県	座間市栗原2487
45	橘学苑	神奈川県	横浜市鶴見区獅子ヶ谷1-10-35
46	英理女子学院	神奈川県	横浜市港北区菊名七丁目6-43
47	柏木学園	神奈川県	大和市深見西4丁目4-22
48	小松市立	石川県	小松市八幡1
49	金沢辰巳丘	石川県	金沢市末町2-18
50	加納	岐阜県	岐阜市加納南陽町3-17

51	沼津西	静岡県	沼津市本字千本1910-9
52	清水西	静岡県	静岡市清水区青葉町5-1
53	清水南	静岡県	静岡市清水区折戸三丁目2-1
54	浜松江之島	静岡県	浜松市南区江之島町630-1
55	知徳	静岡県	駿東郡長泉町竹原354
56	沼津中央	静岡県	沼津市杉崎町11-20
57	旭丘	愛知県	名古屋市東区出来町3-6-15
58	東邦	愛知県	名古屋市名東区平和が丘三丁目11
59	聖霊	愛知県	瀬戸市せいい町2
60	いなべ総合学園	三重県	いなべ市員弁町御園632
61	飯野	三重県	鈴鹿市三日市町字東新田場1695
62	松阪工業	三重県	松阪市殿町1417
63	高円	奈良県	奈良市白毫寺町633
64	岡山工業	岡山県	岡山市北区伊福町4丁目3-92
65	名西	徳島県	名西郡石井町石井字石井21-11
66	徳島市立	徳島県	徳島市北沖洲1丁目15-60
67	高松東	香川県	高松市前田東町690-1
68	高松工芸	香川県	高松市番町2-9-30
69	高松商業	香川県	高松市松島町一丁目18番54号
70	丸亀	香川県	丸亀市六番丁1番地
71	善通寺第一	香川県	善通寺市文京町一丁目1番5号
72	観音寺第一	香川県	観音寺市茂木町4丁目2番38号
73	高松第一	香川県	高松市桜町2-5-10
74	高松桜井	香川県	高松市多肥上町1250
75	英明	香川県	高松市亀岡町1-10
76	山田	高知県	香美市土佐山田町旭町3丁目1-3
77	高知東	高知県	高知市一宮徳谷23番1号
78	高知追手前	高知県	高知市追手筋二丁目2番10号
79	高知丸の内	高知県	高知市丸ノ内2丁目2番40号
80	高知小津	高知県	高知市城北町1-14
81	高知西	高知県	高知市鴨部2丁目5-70
82	中村	高知県	四万十市中村丸ノ内24番地
83	岡豊	高知県	南国市岡豊町中島511-1
84	土佐	高知県	高知市汐屋崎町一丁目1番10号
85	土佐女子	高知県	高知市追手筋二丁目3-1
86	高知	高知県	高知市北端町100番地
87	高知学芸	高知県	高知市榎山町11-12
88	明德義塾	高知県	須崎市浦ノ内下中山160
89	福岡女学院	福岡県	福岡市南区日佐3-42-1
90	佐賀北	佐賀県	佐賀市天祐二丁目6-1
91	佐賀女子短期大学付属佐賀女子	佐賀県	佐賀市本庄町本庄1263
92	芸術緑丘	大分県	大分市上野丘東1-11
93	宮崎大宮	宮崎県	宮崎市神宮東一丁目3-10
94	都城泉ヶ丘	宮崎県	都城市妻ヶ丘町27-15
95	佐土原	宮崎県	宮崎市佐土原町下田島21567
96	宮崎日本大学	宮崎県	宮崎市島之内6822-2

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称)
設置構想に関するアンケート調査(高校2年生女子対象)

女子美術大学では、「共創デザイン学科(仮称)」の新設を検討しております。

このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高校卒業後の進路等についてお聞きし、「共創デザイン学科(仮称)」の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。

回答は、別紙『女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要』をご覧ください。えで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 大学進学(4年制・6年制) | 2 短期大学進学 |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 |
| 5 その他(具体的に) | |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|----------------|---------------|------|
| 1 経済学・経営学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | |
| 5 文学・史学・哲学関係 | 6 工学・理学関係 | |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 美術学・デザイン学関係 | 第2希望 |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 音楽学関係 | |
| 11 体育学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | |
| 13 看護学関係 | 14 その他(具体的に) | |

問3 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない |
|------------|------------|

問4 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | |
|--|
| 1 受験を希望する(学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む) |
| 2 受験を希望しない |

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 あなたは、女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」に合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 進学を希望する | 2 併願大学の結果によって入学する |
| 3 進学を希望しない | |

これで、アンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要

□**計画概要** ※学科名称、学生定員、開設時期、設置場所等については予定

- * 設置組織：共創デザイン学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員60名／収容定員240名
- * 開設時期：令和5年4月
- * 設置場所：東京都杉並区和田1-49-8
- * アクセス：東京メトロ丸の内線 東高円寺駅下車 徒歩8分

□**教育研究上の目的**

- * 共創デザイン学科では、デザインを創造するための基礎的・基本的な知識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、デザインの諸活動を主体的・合理的かつ共創的に行い、デザインによる地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを教育研究上の目的としています。



□**養成する人材**

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する能力を身に付け、デザインの理論や手法を活用し、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能力を備えた人材を養成します。

□**修得する知識・能力等**

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する創出力、デザインの理論や手法を活用した発想や構想と課題の解決にむけてデザイン手法を運用する主体性・開拓力、デザインやデザイン手法に関する知識と能力を統合し、他者と共に商品やサービスの価値の創造に取り組むことができる実装力と柔軟性を身に付けます。

□**想定される卒業後の進路**

- * 卒業後の進路としては、デザイン会社をはじめとする関連企業等に所属し、地域におけるデザイン活動の促進やデザインを活用した地域振興、産業界における産業振興にむけたデザインの活用促進などの活動を通じて、地域の活性化や産業界の振興に貢献することが期待されます。
- * 例えば、製造元や顧客との意思の疎通や連携を図りながら、商品の特色や魅力を包装や容器で表現することで、商品の価値の創造に寄与することなどが想定されます。

□**学費** ※近隣の私立大学類似学科の学費との比較

- * 女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科 1,886,000円（入学金220,000円 授業料等1,666,000円）
- * 武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 1,898,900円（入学金300,000円 授業料等1,598,900円）
- * 多摩美術大学 美術学部 統合デザイン学科 1,945,000円（入学金270,000円 授業料等1,675,000円）

※ 他大学の学費は2021年10月時点の各大学ホームページ掲載情報です。

※ その他、各大学とも諸会費別途必要となる場合があります。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

人材需要に関するアンケート調査関係

人材需要に関するアンケート調査 依頼企業等一覧

No.	企業名	所在地
1	株式会社KADOKAWA	千代田区富士見2-13-3
2	学研グループ	品川区五反田2-11-8
3	株式会社野村総合研究所	千代田区大手町1-9-2
4	アクセンチュア株式会社	港区赤坂1-8-1赤坂インターシティAIR
5	株式会社ジュピターテレコム (J:COM)	千代田区丸の内1-8-1丸の内トラストタワーN館
6	株式会社ゼンリン	北九州市戸畑区中原新町3-1
7	株式会社大塚商会	千代田区飯田橋2-18-4
8	株式会社サンゲツ	名古屋市西区幡下1-4-1
9	株式会社デザインアーク	大阪市北区堂島浜2-1-29古河大阪ビル
10	三菱食品株式会社	大田区平和島6-1-1
11	株式会社日本アクセス	品川区西品川1-1-1住友不動産大崎ガーデンタワー
12	トヨタ自動車株式会社	豊田市トヨタ町1
13	本田技研工業株式会社	港区南青山2-1-1
14	日産自動車株式会社	横浜市西区高島1-1-1
15	スズキ自動車株式会社	浜松市南区高塚町300
16	マツダ株式会社	安芸郡府中町新地3-1
17	株式会社SUBARU	渋谷区恵比寿1-20-8
18	ダイハツ工業株式会社	池田市ダイハツ町1-1
19	いすゞ自動車株式会社	品川区南大井6-26-1大森ベルポートA館
20	日野自動車株式会社	日野市日野台3-1-1
21	トヨタ車体株式会社	刈谷市一里山町金山100
22	株式会社ブリヂストン	中央区京橋3-1-1
23	株式会社クボタ	大阪市浪速区敷津東1-2-47
24	株式会社小松製作所	港区赤坂2-3-6
25	ダイキン工業株式会社	大阪市北区中崎西2-4-12梅田センタービル
26	富士通株式会社	港区東新橋1-5-2汐留シティセンター
27	株式会社東芝	港区芝浦1-1-1
28	日本電気株式会社	港区芝5-7-1
29	パナソニック株式会社	門真市大字門真1006
30	シャープ株式会社	堺市堺区匠町1
31	株式会社ニコン	港区港南2-15-3品川インターシティC棟
32	象印マホービン株式会社	大阪市北区天満1-20-5
33	株式会社デンソーテン	神戸市兵庫区御所通1-2-28
34	株式会社JVCケンウッド	横浜市神奈川区守屋町3-12
35	株式会社リコー	大田区中馬込1-3-6
36	セイコーエプソン株式会社	諏訪市大和3-3-5
37	コニカミノルタ株式会社	千代田区丸の内2-7-2JPタワー
38	ブラザー工業株式会社	名古屋市瑞穂区苗代町15-1
39	東芝テック株式会社	品川区大崎1-11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー
40	能美防災株式会社	千代田区九段南4-7-3
41	ルネサスエレクトロニクス株式会社	江東区豊洲3-2-24豊洲フォレシア
42	株式会社パッファロー	名古屋市中区大須3-30-20赤門通ビル
43	テルモ株式会社	渋谷区幡ヶ谷2-44-1
44	株式会社東海理化	丹波郡大町町豊田3-260
45	トヨタ紡織株式会社	刈谷市豊田町1-1
46	ヤマハ発動機株式会社	磐田市新貝2500
47	株式会社シマノ	堺市堺区老松町3-77
48	アマノ株式会社	横浜市港北区大豆戸町275
49	株式会社マキタ	安城市住吉町3-11-8
50	株式会社アマダホールディングス	伊勢原市石田200
51	芝浦機械株式会社	沼津市大岡2068-3
52	株式会社荏原製作所	大田区羽田旭町11-1
53	東レ株式会社	中央区日本橋室町2-1-1日本橋三井タワー
54	旭化成グループ	千代田区有楽町1-1-2日比谷三井タワー
55	日本製鉄株式会社	千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
56	JFEスチール株式会社	千代田区内幸町2-2-3日比谷国際ビル
57	株式会社伊藤園	渋谷区本町3-47-10
58	株式会社ヤクルト本社	港区東新橋1-1-19
59	味の素AGF株式会社	渋谷区初台1-46-3
60	雪印メグミルク株式会社	新宿区四谷本塩町5-1
61	森永乳業株式会社	港区芝5-33-1
62	ハウス食品株式会社	東大阪市御厨栄町1-5-7
63	カゴメ株式会社	名古屋市中区錦3-14-15
64	株式会社サカタのタネ	横浜市都筑区仲町台2-7-1
65	トッパン・フォームズ株式会社	港区東新橋1-7-3
66	共同印刷株式会社	文京区小石川4-14-12
67	レンゴー株式会社	大阪市北区中之島2-2-7中之島セントラルタワー
68	ユニ・チャーム株式会社	港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館
69	ライオン株式会社	墨田区本所1-3-7
70	アース製薬株式会社	千代田区神田司町2-12-1

71	小林製薬株式会社	大阪市中央区道修町4-4-10
72	大正製薬株式会社	豊島区高田3-24-1
73	参天製薬株式会社	大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA
74	ロート製薬株式会社	大阪市生野区巽西1-8-1
75	大塚製薬株式会社	千代田区神田司町2-9
76	積水化学工業株式会社	大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル
77	帝人株式会社	千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館
78	リンテック株式会社	板橋区本町23-23
79	ニチバン株式会社	文京区関口2-3-3
80	DIC株式会社	中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
81	東洋インキSCホールディングス株式会社	中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン
82	倉敷紡績株式会社	大阪市中央区久太郎町2-4-31
83	AGC株式会社	千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
84	YKK株式会社	千代田区神田和泉町1
85	株式会社河合楽器製作所	浜松市中区寺島町200
86	ローランド株式会社	浜松市北区細江町中川2036-1
87	TOTO株式会社	北九州市小倉北区中島2-1-1
88	タカラスタンダード株式会社	大阪市城東区嶋野東1-2-1
89	クリナップ株式会社	荒川区西日暮里6-22-22
90	株式会社イトーキ	中央区日本橋2-5-1
91	コクヨ株式会社	大阪市東成区大今里南6-1-1
92	株式会社竹中工務店	大阪市中央区本町4-1-13
93	三井不動産株式会社	中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
94	三菱地所株式会社	千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル
95	大和ハウス工業株式会社	大阪市北区梅田3-3-5
96	積水ハウス株式会社	大阪市北区大淀中1-1-88
97	旭化成ホームズ株式会社	千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
98	ミサワホーム株式会社	新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
99	パナソニックホームズ株式会社	豊中市新千里西町1-1-4
100	三井ホーム株式会社	新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
101	森ビル株式会社	港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
102	株式会社ベネッセコーポレーション	岡山市北区南方3-7-17
103	株式会社公文教育研究会	大阪市淀川区西中島5-6-6
104	小田急電鉄株式会社	新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル
105	京王電鉄株式会社	多摩市関戸1-9-1
106	東京地下鉄株式会社	台東区東上野3-19-6
107	アシックスグループ	神戸市中央区港島中町7-1-1
108	エスケー化研株式会社	茨木市中穂積3-5-25
109	赤城乳業株式会社	深谷市西島町2-12-1
110	越後製菓株式会社	長岡市呉服町1丁目4番地5
111	キリンビバレッジ株式会社	中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
112	株式会社ディーエイチシー	港区南麻布2丁目7番1号
113	日本オラル株式会社	港区赤坂1-3-13
114	独立行政法人造幣局	北区天満1-1-79
115	独立行政法人日本芸術文化振興会	千代田区集町4-1
116	独立行政法人日本学術振興会	千代田区麴町5-3-1
117	公益財団法人新国立劇場運営財団	渋谷区本町1-1-1
118	経済産業省 特許庁審査第一部 意匠課 企画調査班	港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー20階
119	公益財団法人日本広告制作協会	中央区銀座1-14-7 銀座吉沢ビル9F
120	公益財団法人ACジャパン	中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
121	横浜市教育委員会事務局教職員人事部人事課	横浜市中区港町1-1
122	AOI TYO グループ (AOI Pro./TYO)	品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5階
123	株式会社朝日新聞社	中央区築地5-3-2
124	株式会社アトラス	品川区西品川1-1-1 住友不動産 大崎ガーデンタワー24階
125	株式会社あたらす二十一	新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル28F
126	株式会社ヴァンドームヤマダ	世田谷区玉川台1-13-12
127	株式会社イー・ティ・イー	中央区日本橋2-12-10 高島屋グループ本社ビル3F
128	エヌディーキューブ株式会社	中央区明石町8-1 聖路加タワー46F
129	株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ	品川区上大崎2-19-10
130	株式会社オカムラ	港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館19階
131	株式会社界グラフィックス	京都市下京区不明門通万寿寺上ル吉水町463番地AKEZUビル
132	株式会社ヴィス	港区東新橋2丁目14-1 NBFコモディオ汐留2F
133	株式会社Mテック	浦安市舞浜1-1
134	株式会社テレビ朝日クリエイト	港区西麻布1-2-9 EXタワー8F
135	株式会社ダウンゴ	中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー
136	株式会社カミオジャパン	大阪市中央区南久宝寺町2-2-9 船場フジビル7階
137	一般社団法人共同通信社	港区東新橋汐留メディアタワー
138	株式会社京屋	中央区日本橋人形町3-3-6 人形町ファーストビル6F
139	株式会社グッドスマイルカンパニー	千代田区外神田3-16-12 アキハCOビル8F
140	株式会社グッド・フィール	品川区西五反田7-22-17 TOCビル11階
141	株式会社グレーブストーン	杉並区阿佐谷南3-1-30
142	株式会社クレオ	千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル5F

143	株式会社桑山	台東区東上野2-23-21
144	株式会社ケイ・ウノ	目黒区自由が丘2-15-22
145	株式会社コーエーテックモゲームス	横浜市港北区箕輪町1-18-12
146	コナミグループ	中央区銀座1丁目1番1号
147	株式会社コロブラ	渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイス11階
148	株式会社Cygames	渋谷区南平台町16番17号 住友不動産渋谷ガーデンタワー15階
149	株式会社サイバード	渋谷区猿楽町10-1 マンサード代官山
150	サンエックス株式会社	千代田区神田多町2-4
151	三協フロンテア株式会社	柏市新十倉25番地
152	GMOインターネット株式会社	渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー
153	株式会社ジークレスト	渋谷区宇田川町40-1
154	株式会社ジャストシステム	新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー
155	株式会社シャルマン	鯖江市川去町6-1
156	株式会社小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント	千代田区神田神保町2-30 昭和ビル5階
157	株式会社スタージュエリー	横浜市中区元町1-24
158	株式会社スノーピーク	渋谷区神宮前1-5-8 神宮前タワービルディング23F
159	株式会社スペース	中央区日本橋人形町3-9-4
160	住江織物株式会社	品川区西五反田2-30-4 BR五反田6F
161	株式会社セガグループ	品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワーセガサミーグループ本社
162	ソースネクスト株式会社	港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター33階
163	株式会社大丸松坂屋百貨店	江東区木場2-18-11
164	太陽企画株式会社	港区新橋5-21-1
165	株式会社タカラトミー	葛飾区立石7-9-10
166	田島ルーフィング株式会社	千代田区岩本町3-11-13
167	株式会社タミヤ	静岡市駿河区恩田原3-7
168	チームラボ株式会社	千代田区神田小川町2-12 小川町進興ビル受付6階
169	ツインバード工業株式会社	燕市吉田西太田字湯向2084-2
170	株式会社土屋鞆製造所	中央区日本橋本町3-6-6 ワカ末ビル4F
171	株式会社ディー・エヌ・エー	渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ
172	株式会社ティーン・ワイ・オー	渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 4階
173	株式会社電通クリエイティブX	港区東新橋1-2-5 電通クリエイティブクロスビル
174	株式会社東京アドデザイナーズ	千代田区三番町1 KY三番町ビル
175	株式会社東北新社	港区赤坂4-8-10
176	東リ株式会社	伊丹市東有岡5-125
177	凸版印刷株式会社	千代田区神田和泉町1番地
178	株式会社ドリコム	目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー17F
179	株式会社ナビタイムジャパン	港区南青山3-8-38 南青山東急ビル
180	日本放送協会	渋谷区神南2-2-1
181	株式会社日本テレビアート	港区東新橋1-6-1 日本テレビタワー21階
182	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	名古屋市西区則武新町3-1-36
183	株式会社博報堂アイ・スタジオ	千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルディング
184	株式会社博報堂プロダクツ	江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント
185	株式会社ハル研究所	甲斐市竜王新町1999-9
186	株式会社バンク・オブ・イノベーション	新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア3F
187	株式会社バンダイナムコエンターテインメント	港区芝5-37-8 バンダイナムコ未来研究所
188	株式会社バンダイナムコオンライン	港区芝5-37-8 バンダイナムコ未来研究所
189	株式会社バンダイナムコスタジオ	江東区永代2-37-25
190	ビジョン株式会社	中央区日本橋久松町4-4
191	株式会社ビズリーチ	渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー12F
192	株式会社日比谷花壇	港区南麻布1-6-30
193	株式会社ファイブフォックス	渋谷区千駄ヶ谷3-60-7
194	株式会社フジアル	江東区青海1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー17階
195	富双合成株式会社	久喜市河原井町37番地
196	株式会社ブレックス	台東区駒形2-5-4 バンダイ第二ビル
197	株式会社フロム・ソフトウェア	渋谷区笹塚2-26-2
198	株式会社ポリゴン・ピクチュアズ	港区南麻布3-20-1 Daiwa麻布テラス1F
199	株式会社ミキモト装身具	目黒区青葉台3-20-8
200	株式会社ムラヤマ	江東区豊洲三丁目2番24号
201	株式会社メンバーズ	中央区晴海一丁目8番10号 晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーX
202	ヤフー株式会社	千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井タワー
203	株式会社ユークス	堺市堺区戎島町4-45-1
204	ユーフォーテーブル有限公司	杉並区本天沼2-47-17 第2榎本ビル
205	株式会社吉田	千代田区東神田1-17-6 C&K
206	LINE株式会社	新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー 23階
207	株式会社レプレゼント	渋谷区神宮前6丁目17番地11号 JPR原宿ビル9階
208	株式会社レベルファイブ	福岡市中央区薬院1-1-1 薬院ビジネスガーデン
209	株式会社ロボット	渋谷区恵比寿南3-9-7
210	1-UPスタジオ株式会社	千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE20階
211	レック株式会社	静岡県静岡市葵区追手町1-6 日本生命静岡ビル 1F・4F
212	朋和産業株式会社	船橋市習志野4-16-12
213	株式会社オリエンタルランド	浦安市美浜1-8-1 OLC新浦安ビル 9階
214	株式会社アサツー ディ・ケイ	港区虎ノ門1-23-1 虎の門ヒルズ森タワー

215	株式会社ADKアーツ	港区虎ノ門1-10-5
216	株式会社オリバー	江戸川区西葛西6-27-19
217	グリー株式会社	港区六本木6-10-1
218	シチズン時計株式会社	西東京市田無町6-1-12
219	株式会社スパイス	港区赤坂2-17-46 グローヴビル
220	株式会社高島屋	中央区日本橋茅場町2-12-7
221	株式会社テレビ東京アート	品川区東品川1-3-3
222	株式会社博展	中央区築地1-13-14 NBF東銀座スクエア9F
223	アサヒ飲料株式会社	守谷市緑1-1-21
224	アサヒグループホールディングス株式会社	墨田区吾妻橋1-23-1
225	荏原環境プラント株式会社	大田区羽田旭町11-1
226	味覚糖株式会社	大阪府中央区神崎町4番12号
227	吉田精工株式会社	行方市八木藤660
228	貝印株式会社	千代田区岩本町3-9-5
229	株式会社タイカ	港区高輪22-18-10
230	日本フルハーフ株式会社	港区新橋1-1-13アーバンネット内幸町ビル
231	グラフィックパッケージングインターナショナル株式会社	港区新橋5丁目20-4 新虎サウスビル5階
232	株式会社フジダン	中央区日本橋大伝馬町 日本橋大伝馬町プラザビル9階
233	社会福祉法人埼玉福祉事業協会	さいたま市西区塚本本町1-94-1
234	三井化学株式会社	港区東新橋1-5-2汐留シティセンター
235	株式会社アクア・アート	中央区日本橋中洲6番9号林中洲ビル
236	株式会社 本田技術研究所	和光市中央1-4-1
237	公益財団法人日本デザイン振興会	港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー5F
238	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所	海老名市下今泉705-1
239	神奈川県産業労働局	横浜市中区日本大通1
240	川崎市経済労働局	川崎市川崎区駅前本町11-2川崎フロンティアビル10階
241	相模原市環境経済局	相模原市中央区中央2丁目11番15号
242	国土緑化株式会社	江戸川区中央2丁目1番21号
243	NITデータ経営研究所	千代田区平河町2-7-9 JA 共済ビル9階・10階
244	芙蓉総合リース株式会社	千代田区麹町五丁目1番地1 住友不動産麹町ガーデンタワー
245	草加丸井	中野区中野4丁目3番2号
246	株式会社SMB信託銀行	新宿区新宿6-27-30新宿イーストサイドスクエア10階
247	株式会社リアセック	港区浜松町1-2-11 浜松町鈴木ビルディング3F
248	京王観光株式会社	新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2F
249	さかがわ成美	小山市西城南1-21-7
250	株式会社Syuro	台東区鳥越1-16-5
251	shokolatt	渋谷区神宮前3-18-6ストーリーア神宮前406
252	株式会社アイシス	杉並区和田1丁目49番8号
253	株式会社岡崎人事コンサルタント	世田谷区上祖師谷5丁目15番1-125号

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称)
設置構想に関するアンケート調査(企業対象)

女子美術大学では、「共創デザイン学科(仮称)」の新設を検討しております。

このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、「共創デザイン学科(仮称)」の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。

回答は、別紙『女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要』をご覧ください。また、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 今後の貴社・貴機関における人材の採用見込について、お尋ねいたします。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 増加すると思う 2 増加すると思わない

問2 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」の社会的な必要性について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問3 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問4 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う 2 採用したいと思わない

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 女子美術大学の「共創デザイン学科(仮称)」で学んだ卒業生の採用人数について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人 2 2人
3 3人以上 4 人数は未定

これで、アンケート調査は終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科(仮称) 設置計画の概要

□**計画概要** ※学科名称、学生定員、開設時期、設置場所等については予定

- * 設置組織：共創デザイン学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員60名／収容定員240名
- * 開設時期：令和5年4月
- * 設置場所：東京都杉並区和田1-49-8
- * アクセス：東京メトロ丸の内線 東高円寺駅下車 徒歩8分

□**教育研究上の目的**

- * 共創デザイン学科では、デザインを創造するための基礎的・基本的な知識と能力を習得させ、デザインの理論や手法を活用し、デザインの諸活動を主体的・合理的かつ共創的にを行い、デザインによる地域や産業の振興を図るための創造的な能力と実践的な姿勢を育成することを教育研究上の目的としています。



□**養成する人材**

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する能力を身に付け、デザインの理論や手法を活用し、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を「共」に「創り」上げることのできる能力を備えた人材を養成します。

□**修得する知識・能力等**

- * 共創デザイン学科では、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインに表現する創出力、デザインの理論や手法を活用した発想や構想と課題の解決にむけてデザイン手法を運用する主体性・開拓力、デザインやデザイン手法に関する知識と能力を統合し、他者と共に商品やサービスの価値の創造に取り組むことができる実装力と柔軟性を身に付けます。

□**想定される卒業後の進路**

- * 卒業後の進路としては、デザイン会社をはじめとする関連企業等に所属し、地域におけるデザイン活動の促進やデザインを活用した地域振興、産業界における産業振興にむけたデザインの活用促進などの活動を通じて、地域の活性化や産業界の振興に貢献することが期待されます。
- * 例えば、製造元や顧客との意思の疎通や連携を図りながら、商品の特色や魅力を包装や容器で表現することで、商品の価値の創造に寄与することなどが想定されます。

□**学費** ※近隣の私立大学類似学科の学費との比較

- * 女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科 1,886,000円（入学金220,000円 授業料等1,666,000円）
- * 武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 1,898,900円（入学金300,000円 授業料等1,598,900円）
- * 多摩美術大学 美術学部 統合デザイン学科 1,945,000円（入学金270,000円 授業料等1,675,000円）

※ 他大学の学費は2021年10月時点の各大学ホームページ掲載情報です。

※ その他、各大学とも諸会費別途必要となる場合があります。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	オハラ フミコ 小倉 文子 <令和元年6月>		短期大学卒		女子美術大学 学長 (令和元.6～令和5.5)